

平成24年度

保健所年報

(旧伊賀保健福祉事務所)

(平成25年版)



伊賀庁舎のマスコットキャラクター 「もーにんちゃん」(左)と「おーちゃん」(右)

三重県伊賀保健所

〒518-8533 伊賀市四十九町 2802 番地 三重県伊賀庁舎内

(保健衛生室)

総務企画課	TEL 0595-24-8070
健康増進課	TEL 0595-24-8045
地域保健課	TEL 0595-24-8076
衛生指導課	TEL 0595-24-8080

FAX 0595-24-8085

〔ホームページ URL〕 <http://www.pref.mie.lg.jp/GHOKEN/HP/>

〔Eメールアドレス〕 ghoken@pref.mie.jp

目次

1 管内概況	
(1)伊賀保健所の概要	…… 1
(2)相談等日程	…… 2
(3)管内の状況	…… 3
(4)人口動態統計	…… 7
2 「みえ県民カビジョン」による事業実績	
I「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～	
111 防災・減災対策の推進	
11105(災害医療体制の整備)	
1 災害拠点病院	…… 11
113 食の安全・安心の確保	
11301(食品の安全・安心の確保)	
1 食品衛生	…… 12
114 感染症の予防と体制の整備	
11401(感染症予防普及啓発の推進)	
1 感染症の予防事業	…… 14
11403(感染症対策のための相談・検査の推進)	
2 エイズ対策事業	…… 15
3 結核対策事業	…… 16
121 医師確保と医療体制の整備	
12101(医療分野の人材確保)	
1 管内保健師設置状況	…… 21
2 保健師等研修状況	…… 21
3 看護学生等保健所実習指導	…… 21
12102(救急・へき地等の医療の確保)	
1 地域救急医療対策事業	…… 22
2 救急告示病院	…… 22
12103(医療の質の向上)	
1 医務	…… 23
123 こころと身体健康対策の推進	
12301(健康づくり活動の推進)	
1 健康づくり総合推進事業	…… 24
2 健康食育推進事業	…… 25
3 栄養施行事務事業	…… 26
12302(こころの健康づくりの推進)	
1 こころの健康づくり事業	…… 28
2 自殺予防対策	…… 28
12303(生活習慣病・難病対策の推進)	
1 原子爆弾被爆者対策事業	…… 31
2 難病対策事業	…… 32
3 難病在宅ケア事業	…… 35

目次

4	臓器移植啓発事業	……	39
5	ハンセン病啓発事業	……	39
6	骨髄バンク	……	39
134	薬物乱用防止等と医薬品の安全確保		
13401	(薬物乱用防止対策の推進)		
1	薬物乱用防止対策	……	40
13402	(医薬品等の安全な製造・供給の確保)		
1	薬事	……	42
2	講習会	……	42
3	献血推進	……	45
13403	(生活衛生営業の衛生水準の確保)		
1	生活衛生	……	46
13404	(人と動物との共生環境づくり)		
1	狂犬病予防	……	47
2	動物愛護	……	47
141	介護基盤整備などの高齢者福祉の充実		
14101	(介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上)		
1	介護保険制度	……	48
14102	(介護基盤の整備促進)		
1	老人保健福祉施設等の設置状況	……	49
142	障がい者の自立と共生		
14202	(障がい者福祉サービスの充実)		
1	障がい者福祉	……	53
14204	(精神障がい者の保健医療の確保)		
1	精神保健福祉事業	……	57
143	支え合いの福祉社会づくり		
14301	(地域福祉活動と権利擁護の推進)		
1	民生委員・児童委員	……	62
14304	(ユニバーサルデザインのネットワークづくりの推進)		
1	おもいやり駐車場利用証制度	……	64
II「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～			
232	子育て支援策の推進		
23201	(保育・放課後児童対策等の充実)		
1	保育所	……	65
2	管内の児童福祉施設(保育所を除く)の状況	……	65
23202	(母子保健対策の推進)		
1	母子保健事業	……	66
2	母体保護事業	……	68

* 事業実績は、次ページの「みえ県民カビジョン」の政策・事業体系に沿ってまとめました。

「みえ県民カビジョン」の政策・事業体系

「みえ県民カビジョン」は、長期的な視点から、三重のあるべき姿を展望し、県政運営の基本姿勢や政策展開の方向性を示す、平成24(2012)年度からのおおむね10年先を見据えた県の戦略計画です。社会経済情勢の変化に対応し、県民の皆さんと力を合わせて新しい三重づくりをめざそうとするものです。

基本理念の実現に向けて、〈政策展開の基本方向〉(三つの柱)を定めるとともに、その下に16の〈政策〉、56の〈施策〉を位置づけて、県政を推進していきます。

I「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

政策	施策	基本事業	ページ
1	危機管理		
	1	防災・減災対策の推進	
		11105(災害医療体制の整備)	11
	3	食の安全・安心の確保	
		11301(食品の安全・安心の確保)	12
	4	感染症の予防と体制の整備	
		11401(感染症予防普及啓発の推進)	14
		11403(感染症対策のための相談・検査の推進)	15
2	命を守る		
	1	医師確保と医療体制の整備	
		12101(医療分野の人材確保)	21
		12102(救急・へき地等の医療の確保)	22
		12103(医療の質の向上)	23
	3	こころと身体の健康対策の推進	
		12301(健康づくり活動の推進)	24
		12302(こころの健康づくりの推進)	28
		12303(生活習慣病・難病対策の推進)	31
3	暮らしを守る		
	4	薬物乱用防止等と医薬品の安全確保	
		13401(薬物乱用防止対策の推進)	40
		13402(医薬品等の安全な製造・供給の確保)	42
		13403(生活衛生営業の衛生水準の確保)	46
		13404(人と動物との共生環境づくり)	47
4	共生の福祉社会		
	1	介護基盤整備などの高齢者福祉の充実	
		14101(介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上)	48
		14102(介護基盤の整備促進)	49
	2	障がい者の自立と共生	
		14202(障がい者福祉サービスの充実)	53
		14204(精神障がい者の保健医療の確保)	57
	3	支え合いの福祉社会づくり	
		14301(地域福祉活動と権利擁護の推進)	62
		14304(ユニバーサルデザインのネットワークづくりの推進)	64

Ⅱ「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

政策	施策	基本事業		
2	子どもの育ちと子育て			
3	子育て支援策の推進			
		23201(保育・放課後児童対策等の充実)	……	65
		23202(母子保健対策の推進)	……	66

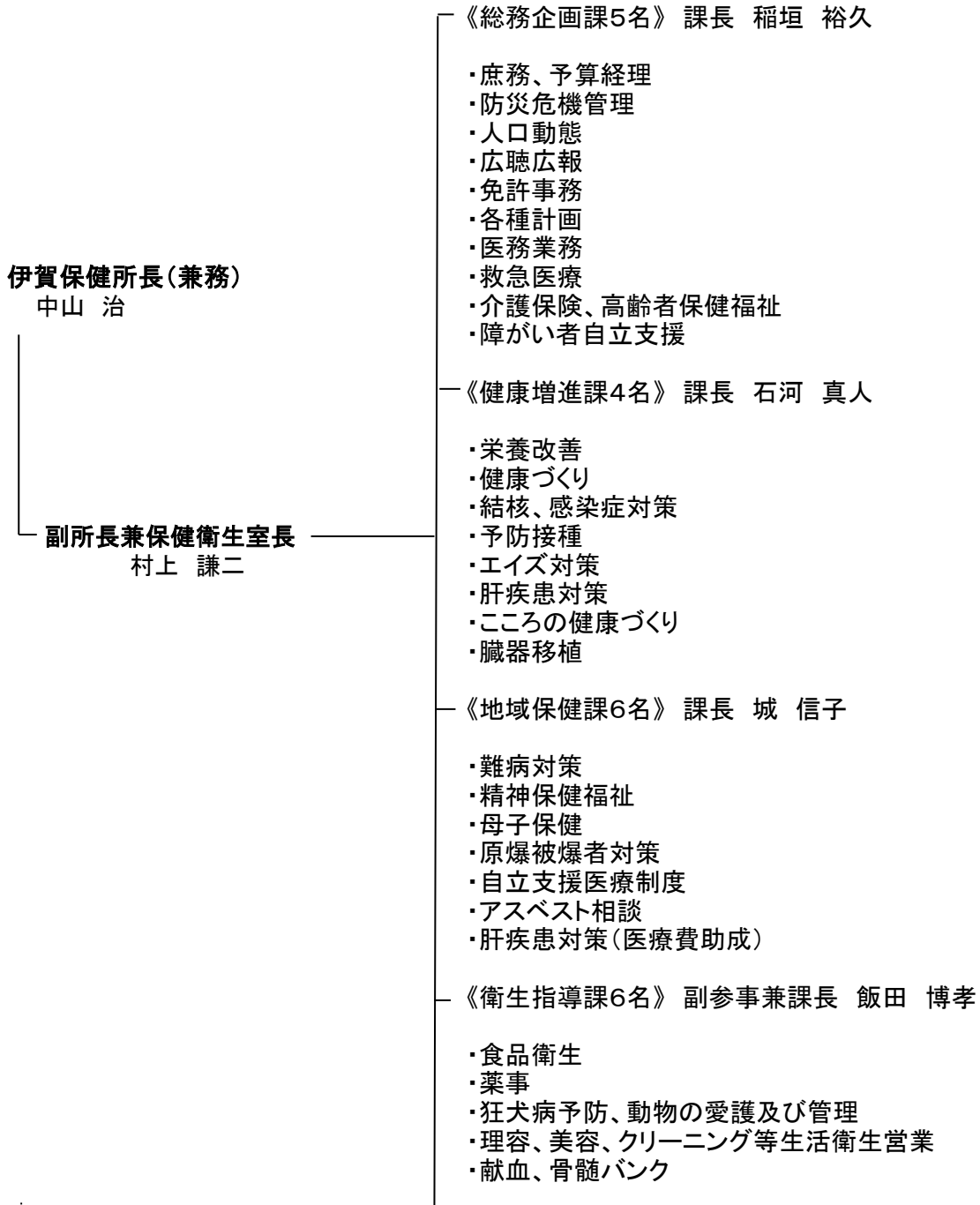
Ⅲ「拓く」～強みを生かした経済の躍動を実感できるために～

* 伊賀保健所に関する事業のみ抜粋しました。

1 管内概況

(1) 伊賀保健所の概要(平成25年度体制)

伊賀保健所組織及び所掌事務



(2) 相談等日程

	午前	午後	場所
月曜日			
火曜日	エイズ・肝炎の相談・検査 (要予約) 9:00～11:00		県 伊賀庁舎
水曜日		精神保健相談(要予約) (第4週) 14:00～16:00	県 伊賀庁舎
木曜日	骨髄バンク(ドナー登録) (要予約) (第2週)9:00～12:00		県 伊賀庁舎
	結核検診 (第2・4週)12:30～13:30		県 伊賀庁舎
金曜日			

(3) 管内の状況

ア 各市の状況

種別 市	平成22年国勢調査		平成24年10月1日現在				世帯数の伸び率	人口の伸び率
	世帯数	総人口	面積(km ²)	世帯数	総人口	人口密度(人/km ²)		
計	64,396	177,491	687.93	64,799	175,023	254.4	100.6%	98.6%
伊賀市	34,915	97,207	558.17	34,534	95,243	170.6	98.9%	98.0%
名張市	29,481	80,284	129.76	30,265	79,780	614.8	102.7%	99.4%

*資料:三重県戦略企画部統計課 平成24年10月1日推計人口

イ 管内の概況

平成 16 年 11 月 1 日に上野市、伊賀町、島ヶ原村、阿山町、大山田村、青山町の 6 市町村が合併し「伊賀市」が誕生したことにより、管内は名張市との 2 市体制となっています。

(ア) 位置・面積・気候

伊賀地域は、三重県の西北部、関西圏と中部圏のほぼ中央に位置するとともに、北は滋賀県、西は京都府、奈良県に接しており、古くから経済・文化ともに関西圏の影響を強く受けている地域です。

また、当地域は内陸盆地で、中央に上野盆地、南に名張盆地があり、東の鈴鹿、布引山系、西の笠置山系、南の室生火山群、北の信楽高原と標高 500～800m の山々に囲まれ、総面積は 687.93k m²で、県土の約 12%にあたります。

山地が約 62%(421.37k m²)を占めますが、盆地内は標高 130～160m で、柘植川、服部川、木津川、名張川が流れ、伊賀市街、名張市街などを潤し、その全てが木津川に集まり、さらに淀川となって大阪湾に注いでいます。

伊賀地方の気候は、その位置と地形から内陸盆地特有の気候です。気温は年平均 14℃前後で、県内でも比較的低温、寒冷地には当たりませんが、夏と冬や朝と夕の気温差が大きい内陸性気候の特徴を見せています。また、年間降水量は 1,400mm 程度と少なく、地形的な要因から夏期の雷及び春秋の霧の発生が多いところです。

(イ) 人口

伊賀地域の人口は、平成 24 年 10 月 1 日現在 175,023 人であり、県の総人口に占める割合は約 1 割です。

昭和 40 年頃までは、高度成長期における県外流出が続き、各市町村とも減少していましたが、その後徐々に増加し、昭和 55 年以降の管内人口の増加率は県全体の増加率を大幅に上回る状況が続き、特に名張市と旧青山町においては、昭和 55 年以降の人口の増加が顕著です。これは、伊賀南部の近鉄大阪線沿線の住宅開発等に起因するものです。しかしながら、伊賀地域の人口は平成 12 年をピークに僅かずつではありますが減少傾向に転じています。

また、管内の 65 歳以上の老年人口は、平成 24 年 10 月現在 46,420 人で、総人口に占める割合は、26.5%に達し、全県の老年人口の比率 25.1%を上回っています。

(ウ) 交通

道路網については、東西幹線として名阪国道(亀山市～天理市)、国道 25 号(四日市市～大阪市)、国道 163 号(大阪市～津市)、国道 165 号(大阪市～津市)、南北幹線として、国道 368 号(伊賀市～多気町)、国道 422 号(大津市～紀北町)の主要幹線があり、また伊賀の各地区を環状に結ぶ広域農道の伊賀コリドールロードが整備されました。

交通機関は、鉄道として東西に、北部のJR関西線、南部の近鉄大阪線が、南北にこの両者を結ぶ伊賀鉄道が通じています。また北東部にはJR草津線が通っています。

このうち、近鉄大阪線については、関西圏の通勤の動脈として利便性が高くなっています。またJR関西線は、名古屋市と大阪市を最短ルートで結ぶ主要幹線鉄道であるものの単線・非電化であることから、輸送力の増大と利便性の向上が強く望まれています。

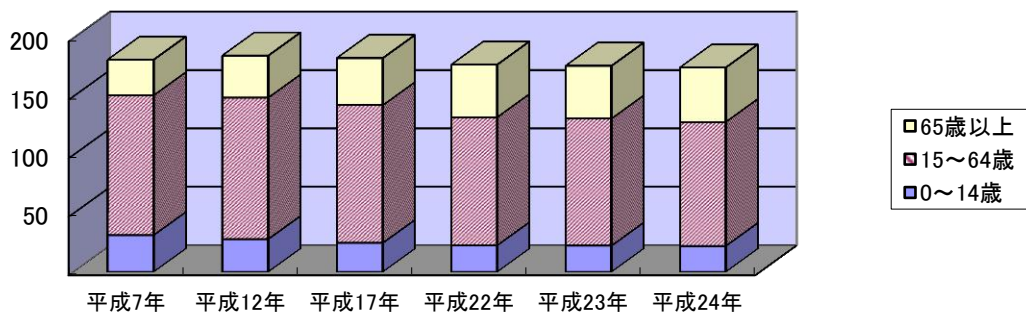


(エ) 管内人口の推移(各年10月1日現在)

	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成23年 2011年	平成24年 2012年
計	181,348	184,818	182,779	177,491	176,487	175,023
伊賀市 (旧上野市)	60,986	61,493	100,623	97,207	96,316	95,243
名張市	79,913	83,291	82,156	80,284	80,171	79,780
伊賀市 (旧伊賀町)	11,154	11,019				
伊賀市 (旧島ヶ原村)	2,934	2,752				
伊賀市 (旧阿山町)	8,500	8,427				
伊賀市 (旧大山田村)	6,186	5,987				
伊賀市 (旧青山町)	11,675	11,849				

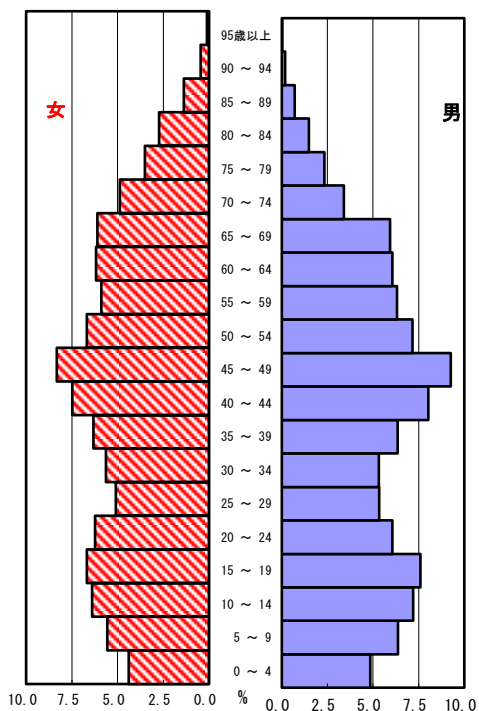
*資料:平成7年～平成22年は国勢調査、平成23,24年は三重県戦略企画部統計課推計人口

3区分別割合の推移

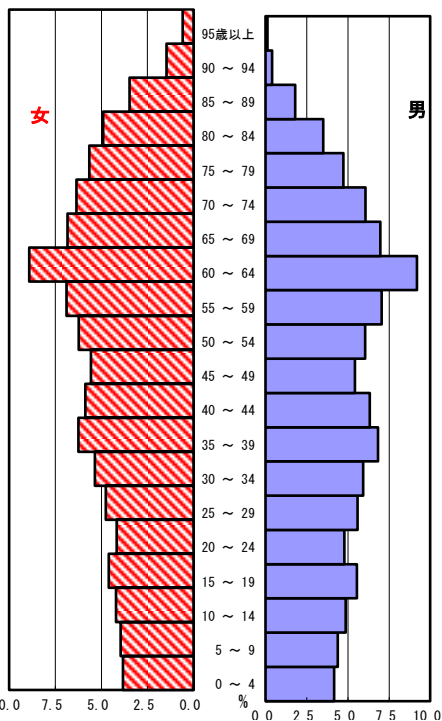


【管内の人口ピラミッド】

平成7年



平成24年



(オ) 管内市の人口構成(概数)

平成24年10月1日現在

市名	総人口	年齢区分別人口			少年人口(18歳未満人口)				
		年少人口 (0～14歳)	生産年齢人 口(15～64 歳)	老年人口 (65歳以上)	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	計
管内	175,023	22,192	106,013	46,420	8,395	9,019	4,778	5,251	27,443
伊賀市	95,243	11,752	56,234	27,093	4,444	4,712	2,596	2,862	14,614
名張市	79,780	10,440	49,779	19,327	3,951	4,307	2,182	2,389	12,829
三重県	1,838,611	247,704	1,117,043	461,692	93,284	100,501	53,919	54,812	302,516

* 資料: 三重県戦略企画部統計課推計人口

* 年齢不詳者が存在するため、必ずしも合計数と一致しない。

平成24年10月1日現在

	年齢区分別割合			年齢構成指数			
	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人 口(15～64 歳)	老年人口 (65歳以上)	年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化指 数
管内	12.7	60.6	26.5	20.9	43.8	64.7	209.2
伊賀市	12.3	59.0	28.4	20.9	48.2	69.1	230.5
名張市	13.1	62.4	24.2	21.0	38.8	59.8	185.1
三重県	13.5	60.8	25.1	22.2	41.3	63.5	186.4

○年齢構成指数の求め方

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口(0～14歳)}}{\text{生産年齢人口(15～64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口(65歳以上)}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

○特徴

管内人口の年齢構成は高齢化が進んでおり、老年人口割合は26.5%となっている。伊賀市では28.4%と三重県の値25.1%を上回っているが、名張市は24.2%と下回っている。

管内の年少人口指数については20.9と三重県の値22.2を下回っているが、老年人口指数43.8、老年化指数209.2と、いずれも三重県の値(老年人口指数43.1、老年化指数186.4)を上回っている。

(カ) 社会福祉施設の状況

平成25年4月1日現在(単位:箇所)

区 分		伊賀市	名張市	計
児童福祉施設 (事業所)	助産施設	1	0	1
	児童養護施設	0	1	1
	知的障害児施設	0	1	1
	障害児通所支援	0	3	3
	短期入所事業所	0	1	1
	児童館	3	3	6
	保育所	36	15	51
老人福祉施設 (事業所)	養護老人ホーム	3	1	4
	特別養護老人ホーム	10	7	17
	老人短期入所施設	10	6	16
	老人福祉センター	1	2	3
	ケアハウス	1	3	4
	デイサービスセンター	42	26	68
障害福祉施設 (事業所)	点字図書館	1	0	1
	盲人ホーム	1	0	1
	生活介護事業所	8	11	19
	短期入所事業所	3	6	9
	就労移行支援事業所	3	1	4
	就労継続支援A型事業所	4	0	4
	就労継続支援B型事業所	17	8	25
	自立(生活)訓練事業所	1	0	1
	共同生活援助事業所	2	2	4
	共同生活介護事業所	5	5	10
	施設入所支援事業所	1	3	4
	福祉型障害児入所施設	0	1	1
	一般相談支援事業所	1	1	2
	特定相談支援事業所	4	2	6
	障害児相談支援事業所	1	2	3

(4)人口動態統計

ア 人口動態総覧

平成23年の人口動態(確定数)の概況は次のとおりである。

表1 人口動態総覧 (実数、率) 各市別

平成23年1月1日~12月

	各市 (県・全 国)	人口	出生			低体重児(再掲)*1			死亡			乳児死亡(再掲)*2		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
実 数	全国	126,180,000	1,050,806	538,271	512,535	100,378	45,633	#####	1,253,066	#####	596,526	2,463	1,269	1,194
	三重県	1,848,107	15,080	7,742	7,338	1,353	614	739	19,271	10,038	9,233	37	15	22
	管内	176,487	1,341	698	643	104	46	58	1,878	1,016	862	2	0	2
	伊賀市	96,316	714	374	340	51	21	30	1,173	630	543	2	0	2
	名張市	80,171	627	324	303	53	25	28	705	386	319	0	0	0
率	全国		8.3	8.8	7.9	95.5	84.8	106.8	9.9	10.7	9.2	2.3	2.4	2.3
	三重県		8.2	8.6	7.7	89.7	79.3	100.7	10.4	11.2	9.7	2.5	1.9	3.0
	管内		7.6	8.2	7.0	77.6	65.9	90.2	10.6	11.9	9.4	1.5	0.0	3.1
	伊賀市		7.4	8.0	6.9	71.4	56.1	88.2	12.2	13.5	10.9	2.8	0.0	5.9
	名張市		7.8	8.4	7.3	84.5	77.2	92.4	8.8	10.0	7.7	0.0	0.0	0.0
	率の算出方法		人口千対	男子人 口千対	女子人 口千対	出生千 対	男子 出生 千対	女子 出生 千対		人口千対	男子人 口千対	女子人 口千対	出生 千対	男子 出生 千対

* 資料: 三重県健康福祉部健康福祉総務課、人口は三重県: 三重県戦略企画部統計課(平成23年10月1日現在推計人口)、全国: 総務省統計局(平成23年10月1日現在推計人口)

*1低体重児は出生体重2,500g未満 *2乳児死亡は生後1年未満の死亡。

平成23年1月1日～12月31日

	各市(県・全国)	新生児死亡(再掲)	死産			周産期死亡			婚姻	離婚	自然増加	合計特殊出生率
			総数	自然	人工	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡				
実数	全国	1,147	25,751	11,940	13,811	4,315	3,941	824	661,895	235,719	△ 202,260	
	三重県	16	333	167	166	67	57	10	8,947	3,264	△4,191	
	管内	2	32	22	10	6	4	2	836	284	△537	
	伊賀市	2	17	13	4	6	4	2	446	160	△459	
	名張市	-	15	9	6	-	-	-	390	124	△78	
率	全国	1.1	23.9	11.1	12.8	4.1	3.3	0.8	5.2	1.9	△1.6	1.39
	三重県	1.1	21.6	10.8	10.8	4.4	3.8	0.7	4.9	1.8	△ 2.2	1.47
	管内	1.5	23.3	16.0	7.3	4.5	3.0	1.5	4.7	1.6	△3.0	1.41
	伊賀市	2.8	23.3	17.8	5.5	8.4	5.6	2.8	4.6	1.7	△4.8	1.43
	名張市	-	23.4	14.0	9.3	-	-	-	4.9	1.5	△1.0	1.38
	率の算出方法	出生千対	(出産)千対			出生千対			人口千対			

*資料:三重県健康福祉部健康福祉総務課、厚生労働省大臣官房統計情報部

- ・△は減を示す。
- ・新生児死亡は生後4週未満の死亡。
- ・早期新生児死亡は生後1週未満の死亡。
- ・死産は妊娠12週以後の死産の出産。
- ・自然増加は出生数－死亡数。

$$\text{合計特殊出生率} = \sum_{\text{年令15}}^{49} \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}}$$

- (ア) 出生
管内の出生数は前年より18人減少し、出生率は7.6であった。市別にみると、伊賀市・名張市共、県の値8.2を下回っている。
- (イ) 死亡
管内の死亡数は1,878人で前年より67人増加し、死亡率は10.6で前年より0.4ポイント上回っている。市別にみると、名張市は県の値を下回っているが、伊賀市は県の値を1.8ポイント上回っている。
- (ウ) 乳児死亡
乳児の生存は母体の健康状態や養育条件等の影響を強く受けることから、地域の衛生状態、生活水準を反映する指標として重視されている。管内の乳児死亡数は前年より3名減の2名であり、新生児死亡数は前年より2名減の2名であった。
- (エ) 死産
管内の死産数は前年より1名増の32名であった。
人工死産率は7.3で三重県の値を3.5ポイント下回っている。自然死産率は16.0で県の値より5.2ポイント上回っている。
- (オ) 周産期死亡
母体の健康状態に強く影響される指標である。周産期死亡数は前年より2名増加し、周産期死亡率は4.5で昨年の値を1.6ポイント上回っている。
- (カ) 婚姻と離婚
婚姻件数は836件で前年より21件増加している。婚姻率は4.7で県の値を0.2ポイント下回っている。
離婚件数は284件で前年より29件減少した。離婚率は1.6で県の値より0.2ポイント下回っている。
- (キ) 自然増加
管内の自然増加率は-3.0で県の値-2.3を0.7ポイント下回っている。
- (ク) 合計特殊出生率
管内の合計特殊出生率は1.41で昨年より0.03ポイント上回っている。伊賀市は1.43で昨年を0.06ポイント上回り、名張市は1.38で昨年を0.02ポイント下回っている。

イ 死亡の動向

死因別の死亡状況を次に示した。

表2 各市別主要死因別死亡数・死亡率(人口10万人対)

平成23年1月1日～12月31日

		総数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
三重県	死亡率	1,042.7	1.6	282.3	13.3	6.2	153.7	106.4	14.3	101.0	15.5	1.7	10.8	20.8	64.7	44.3	19.4
	死亡者数	19,271	30	5,218	246	114	2,841	1,966	264	1,867	287	32	200	384	1,196	818	359
管内	死亡率	1,064.1	1.7	325.2	12.5	3.4	150.7	88.4	14.2	97.5	20.4	2.3	10.2	23.8	90.1	41.9	18.1
	死亡者数	1,878	3	574	22	6	266	156	25	172	36	4	18	42	159	74	32
伊賀市	死亡率	1,217.9	1.0	341.6	13.5	5.2	193.1	95.5	16.6	117.3	21.8	3.1	13.5	34.3	93.4	51.9	19.7
	死亡者数	1,173	1	329	13	5	186	92	16	113	21	3	13	33	90	50	19
名張市	死亡率	879.4	2.5	305.6	11.2	1.2	99.8	79.8	11.2	73.6	18.7	1.2	6.2	11.2	86.1	29.9	16.2
	死亡者数	705	2	245	9	1	80	64	9	59	15	1	5	9	69	24	13

*資料:三重県健康福祉部健康福祉総務課

6

表3 各市別主要死因別年齢調整死亡率(人口10万人対)

平成23年1月1日～12月31日

	総数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
三重県	393.28	0.48	123.75	5.01	1.77	53.29	35.51	5.12	29.11	4.83	0.59	5.22	6.48	13.77	20.45	17.30
管内	377.15	0.54	136.39	4.11	0.71	50.31	29.22	5.18	25.43	6.06	1.17	4.71	7.69	18.91	17.96	14.59
伊賀市	389.34	0.24	132.21	3.70	0.94	57.98	27.05	5.63	25.61	6.60	1.70	5.68	10.99	16.58	17.89	14.60
名張市	364.13	0.87	143.23	4.45	0.29	39.47	32.50	4.67	24.99	6.09	0.59	3.41	3.48	23.28	16.93	14.58

*資料:三重県健康福祉部健康福祉総務課

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{[\text{観察集団の年齢}X\text{歳(年齢階級)の死亡率} \times \text{基準人口集団のその年齢}X\text{歳(年齢階級)の人口}] \text{の各年齢(年齢階級)についての総和}}{\text{基準人口集団の総数}} \times 100$$

基準人口:昭和60年モデル人口の使用

表4 市別・性別・悪性新生物部位別死亡者数

平成23年1月1日～12月31日(単位:人)

各市名	性別	総数	食道	胃	結腸	直腸S 状結腸 移行部 及び直腸	肝及 び肝内 胆管	胆のう 及び その 他の 胆道	膵	気管、 気管支 及び肺	乳房	子宮	白血病	その他
三重県	計	5,218	134	749	444	205	422	271	445	1,120	156	85	131	1,056
	男	3,206	116	474	232	122	276	139	236	860	-	-	85	666
	女	2,012	18	275	212	83	146	132	209	260	156	85	46	390
管内	計	574	18	87	43	22	67	25	45	120	16	10	12	109
	男	362	15	60	26	10	48	13	22	91	-	-	8	69
	女	212	3	27	17	12	19	12	23	29	16	10	4	40
伊賀市	計	329	9	43	23	15	38	19	22	82	8	6	7	57
	男	211	8	31	15	6	27	9	9	65	-	-	5	36
	女	118	1	12	8	9	11	10	13	17	8	6	2	21
名張市	計	245	9	44	20	7	29	6	23	38	8	4	5	52
	男	151	7	29	11	4	21	4	13	26	-	-	3	33
	女	94	2	15	9	3	8	2	10	12	8	4	2	19

*資料:三重県健康福祉部健康福祉総務課

○ 特徴

管内の死因順位では、第一位悪性新生物574人(総数に占める割合30.6%)、第二位心疾患266人(同様に14.2%)、第三位肺炎172人(同様に9.2%)である。これら3大死因の総数に占める割合は53.9%となっている。

年齢構成を補正した年齢調整死亡率は、管内377.15であり、主な死因別では結核、悪性新生物、大動脈瘤、慢性閉塞性肺疾患、喘息、腎不全、老衰がそれぞれ県の値を上回っている。

死因のうち、悪性新生物部位別死亡状況を表4に示した。

「胃」「肝及び肝内胆管」「気管・気管支及び肺」で47.7%を占めている。

I 「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

111 防災・減災対策の推進

11105 災害医療体制の整備

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 災害発生時には、「災害初動マニュアル」に基づいて迅速に対応します。
- 2 災害発生時に、医療機関及び医薬品等関係機関の協力を得て、医療救護活動に必要な医薬品・衛生材料の調達・分配を行ないます。
- 3 災害発生時に、市災害対策本部から要請があれば医療救護班を派遣します。
- 4 災害拠点病院との連携をはかります。

1 災害拠点病院

大規模な災害時に備えるため、災害拠点病院を指定します。

(1) 伊賀地域災害拠点病院

平成 25 年 4 月 1 日現在

名称	郵便番号	住所	電話番号	ファックス番号
伊賀市立上野総合市民病院	518-0823	伊賀市四十九町 831	24-1111	24-2268



↑ 伊賀市立上野総合市民病院
伊賀市立上野総合市民病院ホームページより

113 食の安全・安心の確保

11301 食の安全・安心の確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 食品の製造・加工から消費にいたる一貫した監視指導などを行うことにより、食の安全・安心の確保の構築をめざします。
- 2 食の安全・安心を確保するため、残留農薬や食品添加物、重篤な健康被害を引き起こすアレルギー物質、食中毒菌等の検査を実施します。

1 食品衛生

食品による危害の発生を防止するため、食品営業許可施設等に対する監視指導を実施するとともに、流通食品等を収去検査しました。

また、食品等事業者に対し、食品衛生講習を行うとともに、食品衛生指導員と連携し、食品衛生思想の普及啓発の活動を行いました。

(1) 食品営業許可施設等の監視指導結果

平成24年度三重県食品監視指導計画に基づき、食中毒発生時のリスク、取り扱う食品の流通の広域性、製造量などを評価し3ランクに分類し、ランクごとに監視頻度を定め、食品衛生法に基づく施設基準や食品の衛生的な取扱いを中心とした監視を実施しました。

区分			監視実施件数	監視率(%)
Aランク施設	対象施設数	77	326	211.7
(年2回以上監視)	監視件数	154		
Bランク施設	対象施設数	122	133	109.0
(年1回以上監視)	監視件数	122		
Cランク施設	対象施設数	3561	922	129.3
(5年に1回監視)	監視件数	713		
計	対象施設数	3760	1381	139.6
	監視件数	989		

(2) 食品等の収去検査結果

管内で製造又は流通している食品から 292 検体を抜き取り、試験検査を実施しました。その結果、食品衛生法で定められた規格基準違反はありませんでしたが、食品の製造加工に係る衛生管理の指標として三重県が独自に定めた基準に適合していないものが 9 件あり、衛生管理の改善を助言・指導しました。

品目	検査結果(不適合数)	不適項目
そうざい(加熱)	1	生菌数(1)、大腸菌(1)
そうざい(未加熱)	2	生菌数(1)、大腸菌(1)、黄色ブドウ球菌(1)
調理ご飯	1	生菌数(1)
洋生菓子	4	生菌数(2)、大腸菌(2)
計	9	

・生菌数

食品中に生存しているすべての細菌の数で、一般的な汚染の指標となります。

・大腸菌

糞便系の汚染の指標となります。

・黄色ブドウ球菌

食中毒菌のひとつです。傷口や髪の毛などに存在することがあり、従業員の手指を介した汚染などが考えられます。

(3) 食品衛生に関する講習会実施結果

食品事業者等を対象とした食品衛生に関する講習会を31回開催し、890名の受講がありました。

(4) 食品衛生月間における街頭啓発の実施

厚生労働省は、毎年8月を食品衛生月間と定め、全国的に食品衛生思想の普及・啓発を推進していますが、この食品衛生月間時に食品衛生指導員と連携し、食品衛生思想の普及啓発の活動を行いました。

* 平成24年8月1日 イオン名張店

* 平成24年8月1日 アピタ伊賀上野店

内容 食中毒予防リーフレット等啓発資材の配布

手洗い実験

(5) 調理師・製菓衛生師試験受験状況

平成 24 年度

区分	申込者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
調理師 試験	44	40	27	67.5
製菓衛生師 試験	55	49	25	51.0

114 感染症の予防と体制の整備

11401 感染症予防普及啓発の推進

(主担当：保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

- 1 法に規定されている感染症の患者が発生した場合、家族等の接触者に対して調査や検査を実施し、まん延を防止します。

1 感染症の予防事業

各種感染症の予防対策と防疫対策の推進を図り、患者発生防止に努めた。

(1) 感染症発生状況(結核を除く) 平成 24 年度

分類	疾患名	届出件数
一類感染症	—	0 件
二類感染症	—	0 件
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4 件
四類感染症	—	0 件
五類感染症	アメーバ赤痢	2 件
	風しん	2 件
	後天性免疫不全症候群	2 件

(2) 検疫通報 通報件数 0 件

(3) 行政検査実施状況 平成 24 年度

疾患名	件数
腸管出血性大腸菌感染症	11
感染性胃腸炎	3

(4) 感染症病原体検査 検査件数 8 件

(5) 感染予防教育実施状況

実施日	内容	参加者
平成 24 年 8 月 1 日	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止	伊賀市社会福祉協議会職員 55 名
平成 24 年 9 月 21 日	感染症のお話をしましょう	上野地区労務担当者 11 名
平成 24 年 12 月 4 日	高齢者施設のインフルエンザ対策	特別養護老人ホーム福寿園職員 17 名
平成 24 年 12 月 25 日	感染症の発生状況と予防方法	伊賀地区食の安心安全地域リーダー 16 名

11403 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当：保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

- 1 エイズをはじめとする性感染症のまん延を防止するため、知識の普及、啓発を図るとともに、検査、医療等の相談など総合的に事業を展開します。
- 2 結核患者の早期発見・早期治療のため、接触者健康診断を実施し、まん延を防止します。

1 エイズ対策事業

エイズに対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談及び検査を実施した。

(1) 相談、検査状況

平成 24 年度

	男	女	計
エイズ相談件数	8	3	11
エイズ検査件数	31	24	55

(2) 普及啓発状況

エイズを含めた性感染症の予防と、患者及び感染者に対する差別や偏見の解消を図る事を目的に普及啓発を実施した。

キャンペーン等の実施

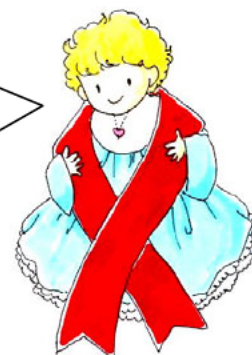
実施日	内 容	対象者
H24 年 10 月 8 日	名張市体育・健康フェスタにおいてエイズ啓発コーナーの設置	来場者 200 名
H24 年 9 月 26 日	コープみえ活動交流会においてエイズ啓発を実施	来場者 77 名
H24 年 11 月 30 日	世界エイズデー街頭キャンペーンの実施	住民 800 名
H24 年 11 月 19 日～ 12 月 10 日	伊賀庁舎にて世界エイズデー啓発コーナーの設置	来庁者 200 名

(3) 特定感染症検査

平成 24 年度

	男	女	計
梅毒検査件数	31	23	54
B型肝炎検査件数	33	25	58
C型肝炎検査件数	33	24	57

レッドリボンは、
H I V感染者・エ
イズ患者への理解
と支援の意思を表
すシンボルです。



(4) 緊急肝炎ウイルス医療機関委託検査事業

県民の皆様が、より肝炎検査を受けられるよう、医療機関に検査委託を行っています。

B・C 型肝炎委託件数 39 件

2 結核対策事業

平成19年4月からは感染症法2類として結核が位置づけられた。対策としては引き続き、結核が個人的にも社会的にも健康被害を及ぼすことのないよう、結核患者に対する適正な医療を普及し、確実な治療への支援に努めるとともに、地域の実情に応じた結核対策を講じ、結核予防の推進を図った。

(1)管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を調査し、患者の管理と生活指導に努めた。

ア 登録及び登録除外の状況(潜在性結核感染症含む)

平成24年中

	H23 年末現在 登録数	年内登録			年内登録除外			H24 年末現在 登録数
		新規	転入	計	除外	転出	計	
管内 計	53	49	1	50	22	3	25	78
伊賀市	24	34	1	35	11	2	13	46
名張市	29	15	0	15	11	1	12	32

イ 新登録患者数(活動性分類、性別、年齢階級別)

平成24年中

病型別 年齢区 分	活動性結核															(別掲) 潜在性 結核感染症		
	計			肺結核活動性									肺外結核					
				喀痰塗抹 陽性			その他 結核菌陽性			菌陰性・ その他			活動性					
	計	男	女													計	男	女
計	42	21	21	17	10	7	11	6	5	6	2	4	8	3	5	7	5	2
0~4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0
5~9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
15~19	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0
20~29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
30~39	4	3	1	1	1	0	1	1	0	2	1	1	0	0	0	2	1	1
40~49	2	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
50~59	3	0	3	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
60~69	6	2	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0
70~	24	13	11	9	5	4	9	5	4	2	1	1	4	2	2	0	0	0

ウ 年末現在登録者数(活動性分類、受療状況別)

平成 24 年 12 月 31 日現在

区分	病型別	計	活動性結核				肺外結核 活動性	不活動 性結核	活動性 不明
			肺結核活動性						
			計	喀痰塗抹 陽性	その他 結核菌陽 性	菌陰性、 その他			
計		70	24	11	9	4	5	26	15
入院		8	7	3	4	0	1	0	0
うち、37 条適用		3	3	2	1	0	0	0	0
在宅医療		20	14	6	4	4	4	0	2
医療なし		39	0	0	0	0	0	26	13
医療状況不明		0	0	0	0	0	0	0	0

エ 市別結核登録患者の状況

平成 24 年 12 月 31 日現在

市町別	病型別	計	活動性結核				不活動 性結核	活動性 不明
			肺結核活動性			肺外結核 活動性		
			喀痰塗抹 陽性	その他結 核菌陽性	菌陰性・ その他			
管内 計		67	10	7	4	5	26	15
伊賀市		28	1	4	1	1	13	8
名張市		39	9	3	3	4	13	7

オ 市別結核新登録患者の状況

平成 24 年中

市町別	病型別	計	活動性結核				肺外結核 活動性	罹患率 (10 万対)	(別掲) 潜在性 結核 感染症
			肺結核活動性						
			計	喀痰塗抹 陽性	その他結 核菌陽性	菌陰性・ その他			
管内 計		42	34	17	11	6	8	23.8	7
伊賀市		13	11	5	3	3	2	13.5	2
名張市		29	23	12	8	3	6	36.2	5

(2) 結核検診実施状況

平成 24 年度

対象別	項目	予防接種			胸部エックス線撮影		喀痰 検査 者数	ツベルク リン検査	QFT 検査	結核患 者発見 者数
		対象者数	BCG接 種者数	接種率	対象者数	受診者数				
定期	計	1,362	1,183	86.9%	56,483	17,282	-	/	/	1
	事業者	/	/	/	6,819	6,681	-	/	/	-
	学校長	/	/	/	1,741	1,737	-	/	/	-
	施設の長	/	/	/	1,538	1,495	-	/	/	-
	市町長	1,362	1,183	86.9%	46,385	7,369	-	/	/	1
定期外	計	/	-	/	/	122	-	51	750	-
	患者家族等	/	-	/	/	100	-	51	750	-
	患者管理	/	-	/	/	22	-	-	-	-

(3) 市町別一般住民結核健康診断実施状況

平成 24 年度

市町別	項目	住民健診 対象者数 (A)	BCG対 象者数 (B)	BCG接 種人員 (C)	(C) / (B) %	胸部エックス線撮影			結核 患者 発見 数(G)	(G) / (D) %	
						受診人員		(D) / (A) %			
						間接撮影 数	直接撮影 数				計(D)
計		46,385	1,362	1,187	87.2%	5,312	2,084	7,396	15.9%	1	0.01%
伊賀市		26,632	687	519	75.5%	4,263	243	4,506	16.9%	1	0.02%
名張市		19,753	675	668	99.0%	1,049	1,841	2,890	14.6%	-	-

(4) 感染症診査協議会委員名簿(順不同)

平成 24 年 4 月 1 日現在

氏名	役職名
坂井 隆	独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター 名誉院長
猪木 達	社会医療法人 畿内会 岡波総合病院 院長
町支 素子	医療法人まちし会 まちしクリニック 院長
山本 政三	元上野市社会福祉協議会常務理事
川村 純子	人権擁護委員

(5) 結核健康相談開催

接触者健診及び管理検診

毎月第2、4週の木曜日 午後 12 時 30 分から午後 13 時 受付

(6) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

ア 感染症法第 37 条申請診査件数

平成 24 年中

区分	申請別 計	新規申請 (法 20 条第 1 項)		継続申請 (法 20 条第 3 項)		解除
申請件数	59	23	36			22
承認件数	59	23	36			22

イ 感染症法第 37 条の 2 申請診査件数

平成 24 年中

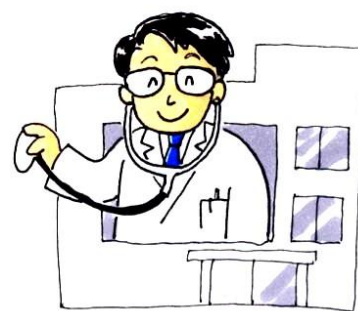
区分	保険別 計	被用者保険		国保	後高	生保	その他
		本人	家族				
申請件数	43	8	5	13	16	1	0
承認件数	43	8	5	13	16	1	0

(7) 結核統計

結核死亡数・率、罹患数・率、有病数・率 平成 24 年

市別		計	伊賀市	名張市
人口 (H24.10.1 現在)		175,023	95,243	79,780
死亡結核	総数	3	1	2
	率(10 万対)	1.7	1.0	2.5
罹患率	総数	42	28	14
	率(10 万対)	24.0	29.4	17.5

* 資料: 三重県戦略企画部統計課推計人口



(8) 結核対策特別促進事業

ア 目的

独居生活者・高齢者世帯など、家族・周囲の者の協力が得られず、服薬中断の可能性が高いと思われる患者を中心に、定期的に保健師による服薬支援を行い、治療の必要な患者が確実な服薬ができるよう、医療機関と保健所が連携を図り、地域での服薬支援体制の充実を図る。

イ 事業内容

(ア) 訪問・電話連絡等で定期的に患者及び家族に服薬・受療状況の確認・支援を行った。

(イ) 医療機関での DOTS カンファレンスに参加し、服薬支援状況・結果等を報告した。

「訪問結果報告書」「面接報告書」を使用して、医療機関との情報共有を行った。

ウ 結果

定期的な服薬確認により本人への意識付けとなり、飲み忘れ・服薬量の勘違いを防ぐことができた。また、家族に対しても服薬支援を行うことで家族内で支援環境が出来、より確実な服薬・受療

ができた。

また、定期的開催されるDOTSカンファレンスに参加したり、面接・訪問結果を医療機関に報告することで、入院中からの患者の情報を得ることができ、よりよい支援を行える体制ができた。

*DOTSカンファレンス:医療機関の医師、看護師、薬剤師や保健所の保健師等が通院後の確実な服薬支援方法について検討、協議する会議

(9) 平成24年新規登録者数内訳(潜在性結核感染症含まず)

ア 発見時症状

呼吸器症状	10
呼吸器症状 + その他	13
その他症状	9
症状なし	7
死亡後に発覚	3
計	42

* 患者42名のうち、呼吸器症状もしくは呼吸器症状+その他の症状等で発見される場合が54.8%を占める。

これは、肺結核の患者が多いためと考えられる。また、症状なしでの発見が4割程度であり、職場健診・定期健診などで発見されている。これらの健診が早期発見につながっていると考えられる。死亡後に結核がわかる場合もあり、これは、培養検査での結果で発覚している。

イ 合併症

糖尿病	10
HIV	1
じん肺	0
その他	7
計	18

* 患者42名のうち、他疾患治療中、経過観察の者が40.5%であった。結核だけでなく、合併症の管理も必要な者が多い。

121 医師確保と医療体制の整備

12101 医療分野の人材確保

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

- 1 保健師は、管内市、産業保健保健師等関係者と連携をとりながら、地域住民の心身の健康保持、増進、健康の回復、疾病予防を目的とし、家庭訪問、健康相談、集団検診、健康教育等を実施しています。
- 2 看護業務・医療業務・栄養業務等に従事しようとする学生に対して保健所実習指導を実施します。

1 管内保健師設置状況

平成 25 年 4 月 1 日現在

	総数	保健所	伊賀市	名張市
設置人員	44	7	19	18



2 保健師等研修状況

年 月 日	研 修 名	場 所	参加者数
H24. 6. 29	災害看護研修	三重県看護研修会館	1名
H24. 7. 5	こころの危機管理研修	三重県津庁舎	1名
H24. 7. 27 H25. 1. 23	保健師1次研修	三重県栄町庁舎 県庁厚生棟	1名
H24. 11. 21	保健福祉施設感染症管理研修	三重県伊賀庁舎中会議室	12名
H24. 12. 26	伊賀管内保健師業務研修会 低出生体重児医療について～NICUの現場から～	三重県伊賀庁舎大会議室	30名
H25. 1. 25	保健師幹部及び管理者技術研修	三重県津庁舎	1名
H24. 8. 31 H24. 9. 21 H25. 2. 15	保健師中堅及びリーダー研修	三重県栄町庁舎 三重県栄町庁舎 県庁講堂棟	1名
H25. 3. 18	保健師人材育成研修	県庁講堂棟	2名

3 看護学生等保健所実習指導

	所 属 名	実習期間(日)	人員(名)
看護学科学生	三重県立看護大学看護学部看護学科	9	4
	三重大学医学部看護学科	10	4
管理栄養士学生	鈴鹿医療科学大学医療栄養学科	5	3
	神戸学院大学	5	1
	武庫川女子大学	5	1

*(実習日数に全員オリエンテーション含む)

12102 救急・へき地等の医療の確保

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 地域住民の救急医療を確保するため、伊賀管内の一次救急、二次救急および救命救急医療体制の整備を行います。
- 2 救急告示医療機関との連携をはかります。

1 地域救急医療対策事業

伊賀地域では、両市の応急診療所による一次救急医療体制と併せて2市3病院による二次救急医療体制がとられている。

しかしながら、病院における医師不足は依然つづいており、二次救急医療体制は大変厳しい状況に置かれている。

一方、救急搬送体制の整備・強化を図るため、伊賀地域メディカルコントロール部会において救急措置活動の Protokol 作成や救急搬送事例の事後検証を行うとともに、救急救命士の再教育についても検討した。

(1) 伊賀地域メディカルコントロール部会(協議会)

- ア 開催回数:2回
- イ 開催場所:三重県伊賀庁舎
- ウ 出席者数:第1回9名 第2回10名

2 救急告示病院

救急告示病院は、地域における救急業務の対象となる傷病者の発生状況等を考慮して認定する。

(1) 伊賀地域救急告示病院

平成 25 年 4 月 1 日現在

名称	郵便番号	住所	電話番号	ファックス番号
伊賀市立上野総合市民病院	518-0823	伊賀市四十九町 831	24-1111	24-2268
岡波総合病院	518-0842	伊賀市上野桑町 1734	21-3135	21-5237
名張市立病院	518-0481	名張市百合が丘西 1 番町 178	61-1100	64-7999

12103 医療の質の向上

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 地域医療提供体制の整備をはかるため、日常の健康管理や適切な初期診療などを身近なところで提供するかかりつけ医の推進をはかります。

1 医務

管内における医療施設の状況は次のとおり。

(1) 施設数

平成 25 年 4 月 1 日 現在

区分	市名		
	総数	伊賀市	名張市
病院	6	4	2
一般診療所	133	73	60
歯科診療所	71	35	36
助産所	1	1	0
施術所	112	55	57

(2) 病床数(病院)

平成 25 年 4 月 1 日現在

	病 院						病床率 (人口 10 万対)
	総数	精神 病床	感染症 病床	結核 病床	一般 病床	療養 病床	病院
伊賀市	1078	410	0	0	628	40	1145.4
名張市	335	0	0	0	255	80	422.9
管内計	1,413	410	0	0	883	120	815.3

* 人口については三重県戦略企画部統計課(平成 25 年 4 月 1 日現在推計人口)

123 こころと身体 の健康対策の推進

12301 健康づくり活動の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課・地域保健課)

主な取組内容

- 1 質の高い健康文化を築き、住民がいきいきと生活できる「健康長寿地域・伊賀」を目指して、健康づくり活動の協働体制に向けた働きかけを積極的に行っていきます。
- 2 市をはじめ、企業、団体等と協働して、食生活、たばこ、運動、こころの健康づくり、歯科保健対策等生活習慣の改善に向けて、県民の健康づくりを支援します。
- 3 野菜摂取量の増加と朝食習慣の定着と朝食における野菜の摂取を推進し、県民が健康的な食生活が実践できるよう支援します。
- 4 給食施設指導を充実し、県民が適正な食生活を営む力をつけることを支援します。
- 5 みえの食生活指針・食事バランスガイドの普及啓発を広く県民に行うとともに、多様な主体と協働した食環境づくりを推進します。

1 健康づくり総合推進事業

地域や企業、関係団体及び関係機関が集い情報交換をおこなうとともに、専門的な知識や情報の共有を通して地域の課題の解決を図るため懇話会を開催する。

(1) いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会

日時	場所	委員出席者数	内容
平成 24 年 7 月 26 日	県伊賀庁舎 中会議室	19 名	・自殺の現状、自殺対策事業について ・H23 年度のメンタルパートナー養成実績 ・各機関の取組状況等意見交換について
平成 25 年 3 月 14 日	県伊賀庁舎 中会議室	18 名	・第2次三重県健康づくり基本計画 ・自殺総合対策大綱の見直し ・特定健診の結果から見た伊賀管内の状況 ・行政・団体・企業における健康づくりの取組状況

(2) 研修会

日時	場所	参加者数	内容
平成 25 年 3 月 8 日	県伊賀庁舎 衛生教育室	22 名	講演:「こころの危機は、脳の危機」 講師:かすみがうらクリニック 副院長 猪野 亜朗氏

(3) 情報交換会

日時	場所	参加者数	内容
平成 24 年 6 月 29 日	県伊賀庁舎 衛生教育室	13 名	・内閣府の「自殺対策に関する意識調査」 ・伊賀管内の状況について ・懇話会活動計画について ・職域・市の取組状況

2 健康食育推進事業

(1) 野菜フル350推進事業

1日の野菜摂取量を350g(食事バランスガイドで副菜5つ)として野菜摂取の増加を推進するためのセミナー、啓発、健康教育を実施した。

(2) モーニングベジの推進

健康的な朝食習慣の定着化及び野菜不足の解消を図り、朝食の野菜摂取量70g(食事バランスガイドで副菜1つ)を推進するために啓発や情報提供を実施した。

ア セミナー(委託事業)

開催日等	開催場所	対象団体	人数	内容
平成 24 年 10 月 10 日 10 月 17 日	伊賀庁舎 栄養指導室	食品衛生協会調理師 部会	28 名	野菜について 栄養表示について

イ 協働啓発活動

開催日	イベント名	対象者	人数	実施場所
平成 24 年 9 月 26 日	コープみえ 2012 くらしの活動交流会	コープみえ会員	77 名	上野フレックスホテル
平成 24 年 10 月 5 日	上野キャノンマテリア ル 野菜をもっと食べ ようキャンペーン	上野キャノンマテリアル 社員	115 名	社員食堂
平成 24 年 10 月 8 日	名張市体育・健康フ ェスタ	住民	200 名	名張市総合体育館
平成 25 年 3 月 10 日	糖尿病等生活習慣 病予防食習慣啓発 キャンペーン	来店者	200 名	マックスバリュ上野東インター 店
平成 24 年 6 月 14 日 平成 24 年 9 月 4 日 平成 25 年 1 月 22 日	普及啓発(委託事 業)	伊賀食品衛生協会会 員	200 名	伊賀庁舎大会議室等

ウ 健康教育

開催日	開催場所	対象者	人数	内容
平成 25 年 3 月 27 日	ハイトピア	伊賀市食生活改善推 進協議会会員	53 名	災害時の食生活改善推進の 活動を考える ～何もない時もこれならできる 野菜たっぷりメニュー～

(3) 健康づくり応援の店

健康に配慮した食事や健康づくりに関する適切な情報を提供する飲食店を「健康づくり応援の店」として登録し、県民の健康づくりを支援する。

平成 25 年 3 月 31 日現在 19 店舗

3 栄養施行事務事業

(1) 給食施設指導

健康増進法、健康増進法施行規則に基づき、給食施設の把握、給食施設における栄養管理・食育の充実に向けた指導助言等を行った。

ア 給食施設従事者研修会

開催日	開催場所	対象者	人数	内容
平成 25 年 1 月 29 日	伊賀庁舎 大会議室	管内給食施設従事者	75 名	災害時の栄養・食を考える Ⅰ部 情報提供 Ⅱ部 演習 避難所運営ゲーム (HUG)研修

イ 特定給食施設等巡回指導

	巡回指導施設数	備考
特定給食施設	21	指定施設 3 を含む
一般給食施設	17	
計	38	

(2) 栄養表示指導

健康増進法第26条に基づく特別用途食品表示、栄養表示基準並びに同法第32条の2に基づく誇大表示の禁止に関する相談や指導・助言を行った。

内容	対象者	件数
虚偽誇大広告、栄養表示相談・指導	事業者	9 件

(3) 人材育成・支援

地域で活動する市民団体や食に関係する職域の専門職種、食育関係者等に対して研修や情報発信等を行うことにより、地域リーダーの育成と活動の活性化に向けた支援を行った。

ア 地区組織育成・支援

食生活改善推進員の育成に対する支援、組織活動に対する育成・支援を行った。

種別	対象者	内容	回数
総会	伊賀市食改協 伊賀地区食改協 上野食改協	地区組織活動について 野菜フル 350 推進事業について	3 回

リーダー研修会	伊賀地区食改協	実習献立指導及び情報提供 等	9回
木の芽会研修	木の芽会会員	食品表示 災害時の食支援 栄養計算等	3回

イ 専門職種への支援

	内容	実施回数
市栄養士	・研修会	3回
	・管理栄養士臨地実習について助言・協働	1回
	・食生活改善推進員養成講座支援	3回
地域活動栄養士	・研修会 ・会員研修への場所及び情報の提供 ・啓発媒体等の提供	3回
地域栄養管理研究会	・研修会 「新KCDガイドライン 2012 を、2013 年に活かす」	1回

(4) 栄養相談・指導

健康増進法第18条に基づく栄養相談・指導を実施した。

	個別指導延べ人数			集団指導延べ人数	
	栄養指導	(再掲) 病態別	(再掲) 訪問による	栄養指導	(再掲) 病態別
妊産婦	0	0	0	0	0
乳幼児	0	0	0	0	0
20歳未満	0	0	0	0	0
20歳以上	3	2	0	917	184

(5) 国民健康・栄養調査

健康増進法、健康増進法施行規則に基づき、国が指定する地区住民の身体状況及び栄養摂取状況、生活習慣等の調査を実施した。

対象地区 伊賀市内1地区
調査数 16世帯 32名
実施期間 平成24年11月



フェアリーベジ(野菜の妖精)があなたの食生活を応援します！

12302 こころの健康づくりの推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

- 1 自殺予防を含めたこころの健康問題についての正しい理解の普及啓発をはかり、関係機関と連携をはかりながら共に支えあい安心して生活できる地域づくりを目指します。
- 2 市が実施するこころの健康づくり対策の側面的支援を行い、市におけるメンタルヘルス事業の推進をはかります。

1 こころの健康づくり事業

(1) こころの健康づくり研修会の開催

県民が「こころの健康」について関心を持ち、元気でいきいきとした生活ができる地域づくりを目指す。そのために、伊賀管内に多くの会員を持つ食品衛生協会会員が「こころの健康づくり」に関心を持って、元気でいきいきとした生活をする中で、会員の店を利用する不特定多数の来客者や近隣の住民のこころの健康づくりにも寄与するものとして、食品衛生指導員大会に合わせて研修会を開催した。

日 時 平成24年9月4日(火)14:30~16:00

場 所 三重県伊賀庁舎7階大会議室

内 容 講演 『こころ元気で商売繁盛・人生繁盛』

講師 こころ元気研究所 所長 鎌田 敏 氏

参加者 食品衛生協会関係者、リスナー登録者、ボランティア等 80人

(2) こころの健康づくりに関する啓発

企業のイベント及び市が開催する健康まつりに参加し、保健所ブースでこころの健康づくりに関する啓発を実施した。

開催日	平成24年10月8日	平成24年9月26日
場 所	名張市総合体育館	上野フレックスホテル
内 容	パネル展示、各種パンフレット・啓発グッズ配布	
来場者	約100名	77名

2 自殺予防対策

自殺が個人的な問題としてのみ捉えられるものではなく、その背景には、様々な社会的要因があることをふまえ、市民や関係機関に対して命の大切さについて理解を深めることや、自殺や精神疾患に対する正しい知識の普及・啓発を行い、地域での自殺予防対策の取り組みについて説明した。

(1) 自殺予防に関する啓発事業

ア 管内課長会議でこころの健康づくり、自殺予防対策について説明

イ 管内保健師業務連絡会議で県の自殺予防対策の取り組みについて説明

市民への自殺予防の啓発

- ・自殺予防週間及び自殺対策強化月間の啓発
- ・庁舎内で「自殺予防週間」、「自殺対策強化月間」にのぼりを立て、啓発グッズを配布
- ・伊賀保健福祉事務所HPに関連記事を掲載
- ・街頭啓発

	日時	場所	内容
自殺予防週間	平成 24 年 9 月 11 日 7:30～8:30	伊賀鉄道上野市駅周辺	「自殺予防週間」ののぼり旗を立て、啓発グッズを配布
	平成 24 年 9 月 13 日 7:30～8:30	近鉄名張駅周辺	自殺予防の声かけ (伊賀市・名張市と共催)
自殺対策強化月間	平成 25 年 3 月 1 日 11:00～	アピタ伊賀上野店	「自殺対策強化月間」ののぼり旗を立て、啓発グッズを配布 自殺予防の声かけ (伊賀市・名張市と共催)
		アピタ名張店	
		マックスバリュ名張店	

(2) 人材育成

ア メンタルパートナー養成

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人の変化に気づき、自殺を考えている人、悩んでいる人を相談窓口等へつなぐ役割が期待される人を養成する。

研修内容		参加者数
メンタルパートナー指導者養成研修		4名
メンタルパートナー養成研修(伊賀管内)		1,077名
メンタルパートナー養成研修	伊賀市	281名
	名張市	127名
開催主体別	保健福祉事務所	669名
	その他	0名

- イ リスナー(傾聴者)養成研修修了者の継続研修開催 参加者:11名
こころの健康づくり講演会をスキルアップを図る継続研修と位置づける
- ウ 精神保健ボランティア「ほほえみ」の継続研修開催 参加者:7名
こころの健康づくり講演会を会員のスキルアップを図る継続研修と位置づける
- エ メンタルパートナー指導者のスキルアップに相談窓口対応力向上研修参加勧奨 4名参加

(3) 地域自殺・うつ対策ネットワーク

質の高い健康文化を築き、住民がいいきと生活できる長寿地域・伊賀を目指して、いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会を設置しており、こころの健康づくり・自殺対策を推進していく。

いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会開催状況

開催日	内 容	参加者
H24. 6. 29 (金) 14:00～	第1回地域・職域情報交換会 情報提供:内閣府の「自殺対策に関する意識調査 伊賀管内の状況について 懇話会活動計画について DVD「三重県職員のメンタル対策について」視聴 職域・市の取組状況	職域関係(企業5名) 行政機関4名 保健所職員4名 13名
H24. 7. 26 (木) 14:00～	第1回懇話会 委員紹介 自殺の現状、自殺対策事業について H23年度のメンタルパートナー養成実績 各機関の取組状況等意見交換について	懇話会委員14名 保健所職員5名 19名
H25. 3. 8 (金)	懇話会委員、職域健康管理担当者等研修会 講演:「こころの危機は、脳の危機」 講師:かすみがうらクリニック 副院長 猪野 亜朗氏 参加企業9社、ハローワーク等	講演参加 懇話会委員、他15名 保健所職員7名 22名
H25. 3. 14 (木)	第2回懇話会 第2次三重県健康づくり基本計画 自殺総合対策大綱の見直し 特定健診の結果から見た伊賀管内の状況 全国健康保険協会 三重支部 保健グループ長 長谷川早苗氏 行政・団体・企業における健康づくりの取組状況	懇話会委員11名 傍聴者(市保健師)2名 保健所職員5名 18名

(4) その他

ア 命の大切さを伝える DVD 制作に係る検討会の実施

映画製作のプロのアドバイスを受け、みえ ALS の会と協働し、回復の見込みのない神経難病患者の自殺予防を視野に入れ、患者や家族が療養生活に希望を持ち、また、支援者が、精神的な支援を行うことができるよう、教育用 DVD 制作について検討を行う。

イ 精神保健相談(毎月第4水曜日) 相談件数:23件(実人数23件)

ウ 自殺・うつ関係相談(随時)面接相談3件(実人員1件) 電話相談4件(実人員4件)

エ 関係機関との連絡調整

- ① 救急外来のある看護部との連携において自殺対策、自死遺族の会紹介(8/7・3/15)
- ② 管内保健福祉課・室長会議で自殺予防対策について説明(5/21)
- ③ 管内精神保健福祉連絡協議会等において関係者に対し研修会の案内、協力依頼等随時実施
- ④ 伊賀管内保健師業務連絡会、自殺予防週間、自殺対策強化月間における情報交換で事業実施を調整。

12303 生活習慣病・難病対策の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課・地域保健課・衛生指導課)

主な取組内容

- 1 原子爆弾被爆者の健康管理や各種手当の支給等を実施します。
- 2 難病患者およびその家族の QOL(生活の質)の向上をはかります。
- 3 県民に臓器移植に対する理解と協力を求めるため、啓発事業を行います。
- 4 休日ドナー登録をはじめとする骨髄バンク普及啓発およびドナー登録の推進をはかり、新規ドナー登録者の確保に努めます。

1 原子爆弾被爆者対策事業

原子爆弾被爆者の援護に関する法律に基づき、被爆者健康手帳所持者の健康管理のため、年2回の定期健康診断及び希望者に対してがん検診を実施した。

また、同法に基づく各種手当を対象者に支給した。

(1) 被爆者健康手帳所持者 56人 平成25年3月31日現在

	伊賀市	名張市
所持者数	20	36

(2) 被爆者健康診断受診状況

ア 定期健康診断受診者数

第1回 24人 (うち要精検者数 9人)

第2回 20人 (うち要精検者数 6人)

イ がん検診受診者数

平成24年度

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	多発性 骨髄腫	大腸がん
受診者数	2	2	0	0	2	2
要精検者数	0	0	0	0	0	2

(3) 各種手当受給状況

平成25年3月31日現在

	医療特別 手当	健康管理 手当	保健手当 (一般)	保健手当 (増額)	介護手当	家族介護 手当	葬祭料
支給対象者数	1	50	0	1	0	3	3

2 難病対策事業

(1) 特定疾患治療研究事業

特定疾患として指定された 56 疾患について、医療費を助成し、治療の促進を図るため、申請により特定疾患医療受給者証を交付した。また、症状が改善され、経過観察等一定の通院管理のもとで、著しい制限を受けることなく就労を含む日常生活を営むことができる者には、特定疾患登録者証を交付した。

ア 特定疾患医療受給者数

平成 24 年度(平成 25 年 3 月末まで)

疾患名		男	女	合計
総計		464	652	1,116
1	ベーチェット病	13	10	23
2	多発性硬化症	5	19	24
3	重症筋無力症	8	15	23
4	全身性エリテマトーデス	13	59	72
5	スモン	0	1	1
6	再生不良性貧血	12	7	19
7	サルコイドーシス	10	14	24
8	筋萎縮性側索硬化症	7	7	14
9	強皮症、皮膚筋炎又は多発性筋炎	20	74	94
10	特発性血小板減少性紫斑病	11	22	33
11	結節性動脈周囲炎	4	9	13
12	潰瘍性大腸炎	79	77	156
13	大動脈炎症候群	1	10	11
14	ピュルガー病	10	1	11
15	天疱瘡	4	4	8
16	脊髄小脳変性症	14	16	30
17	クローン病	21	13	34
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0	0	0
19	悪性関節リウマチ	0	4	4
20	パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	71	118	189
21	アミロイドーシス	4	5	9
22	後縦靭帯骨化症	24	18	42
23	ハンチントン舞蹈病	1	0	1
24	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	3	16	19
25	ウェゲナー肉芽腫症	1	2	3
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	45	10	55
27	多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	9	8	17
28	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0	0	0

29	膿疱性乾癬	1	2	3
30	広範脊柱管狭窄症	8	7	15
31	原発性胆汁性肝硬変	5	31	36
32	重症急性膵炎	2	4	6
33	特発性大腿骨頭壊死症	5	6	11
34	混合性結合組織病	0	12	12
35	原発性免疫不全症候群	0	0	0
36	特発性間質性肺炎	5	2	7
37	網膜色素変性症	17	19	36
38	プリオン病	0	2	2
39	原発性肺高血圧症	0	6	6
40	神経線維腫症	2	0	2
41	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0
42	バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0	0	0
43	特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	2	4	6
44	ライソゾーム病	1	0	1
45	副腎皮質ジストロフィー	0	0	0
46	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	0	0
47	脊髄性筋萎縮症	0	0	0
48	球脊髄性筋萎縮症	1	0	1
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4	1	5
50	肥大型心筋症	2	2	4
51	拘束型心筋症	0	0	0
52	ミトコンドリア病	0	1	1
53	リンパ脈管筋腫症(LAM)	0	1	1
54	重症多形滲出性紅斑(急性期)	0	0	0
55	黄色靱帯骨化症	4	0	4
56	間脳下垂体機能障害	15	13	28

イ 特定疾患登録者数

平成24年度新規登録者数

疾患名		男	女	合計
総計		2	1	3
1	(15)天疱瘡	0	1	1
2	(33)特発性大腿骨頭壊死症	1	0	1
3	(33)黄色靱帯骨化症	1	0	1

(2) 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

先天性血液凝固因子欠乏症として指定された11疾患について、医療費を助成し、治療の促進を図るため、申請により先天性血液凝固因子障害等医療受給者証を交付した。

	疾患名	受給者証交付件数
1	第Ⅰ因子(フィブリノゲン)欠乏症	0
2	第Ⅱ因子(プロトロンビン)欠乏症	0
3	第Ⅴ因子(不安定因子)欠乏症	0
4	第Ⅶ因子(安定因子)欠乏症	0
5	第Ⅷ因子欠乏症(血友病A)	2
6	第Ⅸ因子欠乏症(血友病B)	0
7	第Ⅹ因子(スチュアートブラウア因子)欠乏症	0
8	第ⅩⅢ因子(フィブリン安定化因子)欠乏症	0
9	Von Willebrand(フォン・ヴィルブランド)病	2
10	第ⅩⅠ因子(PTA)欠乏症	0
11	第ⅩⅡ因子(ヘイグマン因子)欠乏症	0

(3) 肝炎治療特別促進事業

B型、C型ウイルス性肝炎インターフェロン治療・核酸アナログ製剤治療の医療費を助成することで、早期治療を促進し、将来の肝硬変、肝がんの予防及び肝炎ウイルスの感染防止をする。

公費負担医療受給状況:平成24年度中

B型肝炎 76件(新規13件、更新63件)

C型肝炎 29件(延長4件、2回目2件を含む)

3 難病在宅ケア事業

管内における患者の実態を明らかにし、個別ケアを中心とした支援活動を充実させながら、在宅ケアを支えていくための医療・保健・福祉を包括したネットワークづくりを目指して各種事業を実施した。

(1) 難病地域ケア会議(実務者)開催

在宅難病患者を取り巻く関係者がネットワークを構築することにより、包括的な支援が提供できるようケア会議を実施した。

開催年月日 病名・場所	関係機関名	検討内容
H24.4.11 ALS (岡波総合病院)	家族、病棟看護師、介護支援専門員 訪問看護師、老人保健施設職員、 訪問入浴事業者、福祉用具事業者 保健所保健師	・現在の病状と見直しについて ・人工呼吸器の選択について ・介護者への支援について ・具体的な在宅サービス導入について
H24.4.13 ALS (自宅)	本人、家族、訪問看護師、 介護支援専門員、福祉用具事業者、 保健所保健師	・病状の進行について ・訪問看護サービスについて ・車椅子、ポータブルトイレの利用について
H24.5.15 ALS (自宅)	本人、家族、介護支援専門員 福祉用具事業所 保健所保健師	・必要な在宅サービス導入について ・コミュニケーション支援について
H24.5.18 ALS (自宅)	本人、家族、訪問看護師 介護支援専門員、福祉用具事業者 ショートステイ施設職員、訪問介護員 保健所保健師	・現在の病状と療養の状況について ・施設サービスの状況について ・具体的な在宅サービス導入について ・コミュニケーション支援について
H24.5.21 脊髄小脳変性症 (自宅)	本人、家族、介護支援専門員 訪問看護師、難病医療専門員 保健所保健師	・日常の過ごし方について ・介護者への支援について ・緊急時の対応について
H24.6.21 ALS (天理よろず相談所病院)	家族、専門医、病棟看護師 訪問看護師、介護支援専門員 保健所保健師	・退院後の療養支援について ・気管切開の選択について ・退院後の在宅医との連携について
H24.7.6 ALS (まちの保健室)	本人、地域包括支援センター保健師 まちの保健室職員、 保健所保健師	・訪問看護サービスの利用について ・介護保険サービスの利用について
H24.9.11 パーキンソン病 (県庁舎)	介護支援専門員、民生委員 訪問看護師、地域包括支援センター職員 市障害支援センター職員 保健所保健師	・家族関係の調整について ・家族の福祉サービスの導入について ・重症申請について

開催年月日 病名・場所	関係機関名	検討内容
H24.9.12 ALS (三重大学病院)	家族、専門医、病棟看護師、 難病医療専門員、訪問看護師 介護支援専門員、呼吸器業者 保健所保健師	・退院後の療養支援について ・気管切開の選択について
H24.10.2 多系統委縮症 (名張市立病院)	家族、介護支援専門員、 病棟看護師、訪問看護師、訪問介護 介護タナー業者、保健所保健師	・退院後の療養支援について
H24.10.4 ALS (天理よろず相談所病 院)	家族、主治医、病棟看護師 訪問看護師、介護支援専門員 保健所保健師	・退院後の療養支援について ・気管切開の選択について
H24.11.8 ALS (天理よろず相談所病 院)	本人、家族、主治医、病院相談員 病棟看護師、訪問看護師、 介護支援専門員、訪問介護員 保健所保健師	・退院後の療養支援について ・終末期の迎え方について

* ALS: 筋萎縮性側索硬化症

(2) 個別ケアの充実

ア 電話相談・面接相談

在宅療養患者及び家族の相談、関係機関との連絡調整及び特定疾患申請手続き等に関する相談に対応した。

相談結果

方法	相談内容	延べ件数
電話相談	新規・更新・変更申請に関すること	600 件
	療養相談・制度等	100 件
	関係機関との連絡調整	50 件
	合 計	750 件
面接相談	新規・更新・変更申請に関すること	1567 件
	療養相談・制度等	1676 件
	関係機関との連絡調整	10 件
	合 計	3255 件

神経難病患者については、疾患の理解・治療・予後等に対して特に不安が強いと考えられるため、新規申請時の面接に際し、医療や療養生活等の相談に十分理解できるよう努めた。

なお、平成24年度の主な神経難病の新規申請者数は次のとおり。

疾患番号	疾患名	新規申請者数
(2)	多発性硬化症	3 人
(3)	重症筋無力症	2 人
(8)	筋萎縮性側索硬化症	5 人
(16)	脊髄小脳変性症	3 人
(20)	パーキンソン病関連疾患	47 人
(27)	多系統萎縮症	7 人
合 計		67 人

イ 家庭訪問

患者や家族、医療機関その他関係機関から依頼のあったケースを中心に家庭訪問を実施し、関係機関・関係者と連携して課題の改善のための支援を行った。

疾患別訪問実施状況

疾患名	延べ件数
筋萎縮性側索硬化症(ALS)	44 件
スモン	1 件
ハンチントン病	1 件
多系統萎縮症	1 件
アミロイドーシス	1 件
間脳下垂体機能障害	3 件
合 計	51 件

(3) 訪問療養相談

在宅で寝たきり状態であるために、長期間にわたり専門医の診察や福祉サービス利用・栄養相談等療養上の相談を受けることが困難な患者及び家族に対し、療養生活が適切に行われるよう専門職による訪問療養相談を実施した。

開催月日	平成24年11月21日(水)
対象者	ALSの患者と家族 1件
スタッフ	名張市立病院医師・訪問看護師・当所保健師

(4) 事例検討会・研修会等

管内の関係機関、支援者が難病に対する知識と理解を深めることにより個別ケアの充実を図るとともに、患者を取り巻く関係者のネットワーク化を図るため、事例検討会及び研修会を実施した。

ア 事例検討会

開催年月日 病名・場所	関係機関名	検討内容
H24.9.11 パーキンソン (県庁舎)	介護支援専門員、民生委員 訪問看護師、地域包括支援センター職員 市障害支援センター職員 保健福祉事務所保健師	・家族関係の調整について ・家族の福祉サービスの導入について ・重症申請について

イ 研修会

月日 場所	内容	参加者
H25.1.13 県伊賀庁舎	講演 (1)三重県難病医療連絡協議会の活動 「介護職員等による吸引吸痰等の行為の実施状況(調査報告)」 講師:難病医療専門員 中井 美智子 氏 (2)「最新の治療情報等を含むALS患者の療養支援」 講師:三重大学医学部看護学科 教授 成田 有吾 氏 (3)「災害時の電源状況とその対策」 講師:国立長寿医療研究センター 長寿医療工学研究部 診療関連機器開発研究室 研究員 久保田 怜氏	63人 伊賀管内の介護支援専門員、訪問看護師、訪問介護員、介護施設職員、行政など在宅支援関係者

ウ ALS 患者・家族、在宅療養支援者対象の教育用 DVD 作成への協力

ALS 患者・家族会(mals の会)の元会長(伊賀管内在住・故人)を取材したドラマ(日生学園制作)から、新たに教育用 DVD を作成するための編集会議等に参加した。

4 臓器移植啓発事業

臓器提供に関する正しい知識の普及啓発を行い、臓器提供意思表示カードの推進を図っています。

(1) 臓器提供意思表示カード配布窓口業務

伊賀保健所の窓口において、「いのちの贈りものあなたの意思で救える命」パンフレットと臓器提供意思表示カードの掲示・配布を行っています。

5 ハンセン病啓発事業

ハンセン病について正しい知識と理解を持ち、偏見や差別のない、人権が尊重される社会を実現するための啓発を目的として、ホームページにおいて「ハンセン病問題を正しく理解しましょう」を掲載しました。

6 骨髄バンク

白血病や再生不良性貧血など血液難病の患者にとって、生への希望である骨髄バンクが円滑に実施されるよう、骨髄移植に関する正しい知識の普及啓発を行い、骨髄提供希望者登録(ドナー登録)の推進を図った。

(1) 骨髄提供登録受付窓口業務

毎月第2木曜日に登録受付を実施したが、登録者は0名であった。

(2) 臨時ドナー登録受付の実施

管内6ヶ所の献血会場にて受付を実施した結果、11名の登録があった。

134 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保

13401 薬物乱用防止対策の推進

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 不正大麻とけし栽培の取締りを実施します。
- 2 薬物乱用の未然防止をはかるため、街頭における啓発活動等を実施します。
- 3 伊賀保健所内に覚醒剤等相談窓口を設置し、地域住民からの覚醒剤等に関する相談に応じます。

1 薬物乱用防止対策

覚醒剤、麻薬、大麻、シンナーなどの薬物乱用は本人の心身に害を及ぼすことはもちろんのこと、凶悪犯罪を誘発するなど社会的、経済的にも計り知れない害悪を及ぼす。

そのため、県民に、薬物乱用の危害等薬物に関する情報を提供し、乱用防止の重要性についての啓発活動を実施した。

(1) 不正大麻・けし撲滅運動

ア 目的 不正大麻・けし撲滅運動期間中に大麻・けしの不正栽培の防止及び野性的大麻・けしを一掃するため、発見除去等に努める。

イ 実施年月日 平成 24 年 4 月 1 日～6 月 30 日

ウ 除去本数 けし 3ヶ所 204 本

(2) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

ア 目的 覚醒剤等の薬物乱用は青少年をはじめとして広く県民に広がっている。そのため、青少年を主とし県民に薬物の恐ろしさ、乱用防止の大切さを強く訴え、乱用撲滅への意識の高揚を図った。また、薬物依存者等を支援するため、薬物関連の相談窓口等の充実を図った。

イ 実施内容等

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン			
年月日	実施場所	対象人員	実施内容
平成 24 年 6 月 23 日	伊賀市 アピタ伊賀上野店	2,000	リーフレット・救急絆創膏等の 啓発資材の配布
平成 24 年 6 月 23 日	名張市 イオン名張店	2,000	

麻薬・覚醒剤乱用防止運動			
年月日	実施場所	イベント名	実施内容
平成 24 年 10 月 8 日	名張市総合体育館	名張市体育・健康フェスタ	リーフレット・ポケットティッシュ 等の啓発資材の配布
平成 24 年 10 月 25 日	伊賀市 上野銀座通り	天神祭	
平成 24 年 11 月 10 日	名張市 中町サンロード	隠街道市(名張街道市)	

(3) 覚醒剤等相談窓口業務

平成 24 年度(単位:件)

区分	項目 相談件数	相談内容(内容が複数にまたがるものはそれぞれに計上)				
		一般相談	取締・監査等	医療機関	その他	合計
	覚せい剤	0	0	0	0	0
	麻薬	0	0	0	0	0
	大麻	0	0	0	0	0
	有機溶剤	0	0	0	0	0
	脱法ドラッグ等 その他	31	31	0	15	62

13402 医薬品等の安全な製造・供給の確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 薬事法、毒物及び劇物取締法、麻薬及び向精神薬取締法等に基づき、医薬品販売等施設に対する監視指導を実施します。
- 2 薬事関係業者の資質向上、自主管理体制の促進を目的に研修会等を関係団体と共同して実施します。
- 3 「愛の血液助け合い運動」をはじめとするキャンペーンに取り組み、献血思想の普及啓発等による献血の推進をはかり県内で必要な血液を確保します。

1 薬事

薬事法、毒物及び劇物取締法、麻薬及び向精神薬取締法等に基づきこれらの薬品の製造、流通、消費に至るまで保健衛生上の見地から監視指導を実施した。

(1) 医薬品等の品質、有効性、安全性の確保

薬事法に基づき、医薬品、医薬部外品等の品質、有効性、安全性を確保するため、製造業者、販売業者の監視指導を実施した。

(2) 毒物劇物による危害防止

ア 毒劇物取扱状況実態調査を行うとともに、毒劇物取扱者に対し監視指導を強化し、保管管理の徹底を図った。

イ 警察、消防機関と共同して毒物劇物運搬車両の路上取締りを実施した。

(3) 麻薬等の取扱・管理の適正化

麻薬及び向精神薬取締法に基づき、麻薬等の販売業者や麻薬診療施設を立入調査した。

2 講習会

薬事関係営業者及び薬物乱用防止指導員等に対して、各種講習会を行った。

年月日	実施場所	対象人員	実施内容
平成 24 年 11 月 15 日	ゆめぼりすセンター	伊賀薬剤師会会員 40 名	最近の薬事行政について
平成 25 年 3 月 14 日	伊賀庁舎中会議室	伊賀地区薬物乱用防止指導者 協議会 14 名	薬物乱用防止について

管内各市別薬事関係施設数(平成 25 年 3 月 31 日現在)及び平成 24 年度立入検査数

医薬品営業関係施設

		伊賀市	名張市	管内総数	立入検査数	
医薬品	薬局	33	24	57	28	
	製造業(薬局)	5	8	13	3	
	製造販売業(薬局)	5	8	13	3	
	卸売販売業(旧法を含む)	10	5	15	6	
	特例販売業	2	0	2	0	
	店舗販売業	18	17	35	18	
医療機器	販売業	高度管理医療機器	19	22	41	14
		管理医療機器	286	196	482	75
	賃貸業	高度管理医療機器	0	0	0	0
		管理医療機器	0	0	0	0
	販売・賃貸業	高度管理医療機器	10	4	14	5
		管理医療機器	6	4	10	4
合計		394	288	682	156	

* 改正薬事法の施行に伴い分類集計を変更

毒物劇物営業関係

業種		伊賀市	名張市	管内総数	施立 施設 数	立入 検査 数
製造業		9	2	9		4
販売業	一般	33	24	33		15
	農業用品目	31	3	31		8
	特定品目	1	2	1		0
第22 条第 1項	電気メッキ業	0	0	0		0
	金属熱処理業	0	0	0		0
	運送業	0	0	0		0
特定毒物使用者		0	0	0		0
特定毒物研究者		2	0	2		1
合計		76	31	76		28

麻薬関係

業種		伊賀市	名張市	管内総数	施立 施設 数	立入 検査 数
麻薬卸売販売業		1	0	1		2
麻薬小売販売業		25	17	25		32
麻薬 施設 診療 施	病院	4	2	4		12
	一般診療所	26	20	26		8
	歯科診療所	0	0	0		0
	家畜診療所	5	7	5		0
麻薬研究者		4	0	4		2
けし研究者		0	0	0		0
大麻研究者		0	0	0		0
合計		65	46	65		56

覚せい剤関係

業種		伊賀市	名張市	管内総数	施立 施設 数	立入 検査 数
覚せい 剤 原 料	取扱者	7	0	7		0
	研究者	4	0	4		1
	薬局	33	24	33		28
	病院・診療所	111	98	111		5
	家畜診療所	18	8	18		0
合計		173	130	173		34

向精神薬関係

業種		伊賀市	名張市	管内総数	施立 施設 数	立入 検査 数
免許みなし卸売業者		10	5	10		6
免許みなし薬局		33	24	33		28
小計		43	29	43		34
病院等	病院	4	2	4		12
	一般診療所	72	60	72		1
	歯科診療所	35	36	35		0
	家畜診療所	18	8	18		0
小計		129	106	129		13
向精神薬試験研究施設		0	0	0		0
合計		172	135	172		47

3 献血推進

医療に必要な血液製剤をすべて自国の献血で確保する体制を早期に確立するため、献血思想の普及、献血組織の充実に努めた。特に輸血の安全性を向上させる 400ml 献血及び成分献血への理解と協力を図っている。

また、少子高齢化の進行により献血可能人口の減少が避けられないなか、将来の献血事業を担う若年層に対し、献血思想の普及啓発を推進した。管内高校及び高等専門学校を訪問し、献血の啓発とヤングミドナサポーター事業への協力を依頼した。

その結果、近畿大学工業高等専門学校からヤングミドナサポーターとして31名の登録があった。

* ヤングミドナサポーター：高校生等を対象とした献血ボランティア

(1) 「愛の血液助け合い運動月間」の実施

期 日	場 所	申込者数	献血者数
平成 24 年 7 月 10 日	アピタ伊賀上野店	71 名	54 名
平成 24 年 7 月 11 日	イオン名張店	59 名	39 名

(2) 「ウインター献血キャンペーン」の実施

期 日	場 所	申込者数	献血者数
平成 25 年 1 月 14 日	アピタ伊賀上野店	60 名	49 名
平成 25 年 2 月 20 日	イオン名張店	60 名	37 名

(3) 市別献血状況

平成 24 年度実績

市町別	献血者数			
	400mL	200mL	成分献血	計
伊賀市	1,859	0	0	1,859
名張市	758	0	0	758
伊賀管内	2,617	0	0	2,617
三重県	34,750	122	24,542	59,414

13403 生活衛生営業の衛生水準の確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 生活衛生関係事業者に対し衛生指導を行い、衛生水準の向上と自主管理体制の整備に努めます。
- 2 理容・美容所等の立入調査や旅館の監視指導を行っていきます。
- 3 公衆浴場、旅館業等の関係施設に対し、レジオネラ症発生防止のため、自主管理の徹底をはかるよう監視指導を重点的に実施します。

1 生活衛生

理容所、美容所、クリーニング所、旅館、公衆浴場、興行場等日常生活に密着した営業施設に対して生活衛生水準の維持向上を図るため、施設の監視指導を行なうとともに従業員に対して衛生講習を実施した。

(1) 市別生活衛生関係営業施設・調査監視数

平成 25 年 3 月 31 日現在

業種		市			管内総数	平成 24 年度 調査監視件数
		伊賀市	名張市			
理容所		112	73	185	35	
美容所		157	142	299	51	
クリーニング所	工場	17	15	32	4	
	取次所	89	78	167	0	
旅館	ホテル営業	11	3	14	8	
	旅館営業	37	28	65	18	
	簡易宿所営業	6	8	14	1	
	下宿営業	1	0	1	1	
公衆浴場		31	9	40	16	
興行場		6	1	7	1	
合 計		467	357	824	135	

(2) 理容所・美容所従事者衛生講習

実施年月日	会 場	受講者数
平成 24 年 9 月 10 日 10:00～	伊賀庁舎大会議室	理・美容師
		140 名
平成 24 年 9 月 10 日 13:30～	名張市商工会議所	理・美容師
		101 名

13404 人と動物との共生環境づくり

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 狂犬病予防のために野犬の捕獲を行います。
- 2 動物愛護についての普及啓発のために動物愛護ポスター展の開催等を実施します。

1 狂犬病予防

狂犬病予防法に基づき、畜犬登録、狂犬病予防注射接種率向上のため市と協働して啓発活動を行った。

2 動物愛護

動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、犬の放し飼い防止の指導、飼えなくなった犬や猫の引き取りを行った。

(1) 平成 24 年度月別犬捕獲等業務、咬傷事故届及び猫収容数

平成 24 年度

区分 月別	犬捕獲等業務				咬傷事故届	猫収容頭数
	犬捕獲頭数	犬引取頭数	犬返還頭数	犬処分頭数(※)		
平成 24 年 4 月	3	5	0	8	0	58
5 月	3	3	2	4	1	52
6 月	4	0	2	2	0	60
7 月	1	5	2	4	4	34
8 月	6	5	3	8	3	24
9 月	2	3	1	4	1	40
10 月	1	6	1	6	0	27
11 月	2	4	3	3	1	18
12 月	4	1	3	2	0	27
平成 25 年 1 月	3	1	3	2	1	9
2 月	2	1	2	2	0	12
3 月	2	2	2	2	1	13
計	33	36	24	47	12	374

* 犬処分頭数=殺処分+譲渡数

(2) 特定動物の飼養状況

平成 25 年 3 月 31 日現在

飼育場所	種類	頭数	目的
名張市	ニホンザル	1頭	愛玩用

141 介護基盤整備などの高齢者福祉の充実

14101 介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 介護サービス提供事業者に対し、新規・変更・更新指定申請時に必要な指導、助言を行い、介護サービスの質の確保に努めます。
- 2 介護サービス利用者の尊厳の保持、能力に応じた自立支援、並びにQOLの向上を支援します。

1 介護保険制度

(1) 実施主体数 2 保険者(伊賀市・名張市)

(2) 要介護認定者の状況

平成 25 年 3 月 31 日現在

保険者	要介護認定者数(人)							
	合計	要支援		要介護				
		1	2	1	2	3	4	5
伊賀市	6,251	720	855	1,275	1,141	877	751	632
名張市	3,360	235	572	556	688	485	474	350
合計	9,611	955	1,427	1,831	1,829	1,362	1,225	982

* 資料:厚生労働省老健局介護保険計画課

(3) 介護度別居宅介護サービス受給者数

平成 25 年 3 月 31 日現在

保険者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
伊賀市	241	422	797	824	550	337	220	3,391
名張市	98	312	338	473	287	211	135	1,854
合計	339	734	1,135	1,297	837	548	355	5,245

* 資料:厚生労働省老健局介護保険計画課

(4) 施設種別サービス受給者数

平成 25 年 3 月 31 日現在

保険者	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	計
伊賀市	665	373	19	1057
名張市	423	170	35	628
合計	1088	543	54	1685

* 資料:厚生労働省老健局介護保険計画課

(5) 指定居宅・施設介護支援事業者数

平成 25 年 4 月 1 日現在

	事業者数	備考(定員)
訪問介護	40	
訪問入浴介護	3	

訪問看護	9	
通所介護	68	
通所リハビリテーション	9	
短期入所生活介護	18	
福祉用具貸与	7	
特定福祉用具販売	7	
特定施設入所者生活介護	6	
指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	17	1,109 人
介護老人保健施設（老人保健施設）	6	598 人
介護療養型医療施設（療養型病床群）	1	40 人
介護予防訪問介護	40	
介護予防訪問入浴介護	3	
介護予防訪問看護	8	
介護予防通所介護	67	
介護予防通所リハビリテーション	7	
介護予防短期入所生活介護	17	
介護予防福祉用具貸与	7	
介護予防特定福祉用具販売	7	
介護予防特定施設入所者生活介護	4	

(6) 介護保険審査会

要介護認定に関する審査請求については、介護保険審査会の公益代表委員3名からなる合議体において審理され、裁決が行われます。なお、平成24年度の審査請求ありません。

14102 介護基盤の整備促進

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 「みえ高齢者元気・かがやきプラン」(第4期三重県介護保険事業支援計画・第5次三重県高齢者福祉計画)に基づき、年度別に地域の実情を勘案して、老人保健福祉施設の整備を進めます。
- 2 利用者の視点に立った、質の高い高齢者福祉サービスを提供できる人材の確保と地域ケア体制の整備を進めます。

1 老人保健福祉施設の設置状況

平成25年4月1日現在(単位:施設数・定員)

	特別養護 老人ホーム	介護老人 保健施設	介護 療養型 医療施設	養護老人 ホーム	老人福祉 センター	特定施設 入居者 生活介護	老人憩 の家	有料老 人ホーム
伊賀市	10(689人)	4(450人)	0	3	1	3	1	1
名張市	7(420人)	2(148人)	1(40人)	1	2	1	1	3
計	17(1,109人)	6(598人)	1(40人)	4	3	4	2	4

平成 25 年 4 月 1 日現在

施設の種別	施設名	市名	定員	ショートステイ
養護老人ホーム	恒風寮	伊賀市	50	—
	梨ノ木園	伊賀市	70	—
	偕楽荘	伊賀市	50	—
	みさと園	名張市	50	—
特別養護老人ホーム	第二梨ノ木園	伊賀市	50	20
	福寿園	伊賀市	80	20
	彩四季	伊賀市	60	28
	さわやか園	伊賀市	80	20
	ぬくもり園	伊賀市	80	30
	いがの里	伊賀市	60	20
	おおやまだ鶴寿園	伊賀市	80	4
	森の里	伊賀市	90	20
	おおぞら（市指定）	伊賀市	29	21
	伊賀シルバーケア豊寿園	伊賀市	80	40
	名張特別養護老人ホーム	名張市	50	20
	国津園	名張市	80	4
	はなの里	名張市	50	20
	グリーンピア名張	名張市	30	20
	第2はなの里	名張市	50	30
	第3はなの里	名張市	80	30
名張もみじ山荘	名張市	80	—	
老人福祉センター	島ヶ原老人福祉センター清流(特A型)	伊賀市	—	—
	一ノ井老人福祉センター(B型)	名張市	—	—
	名張市老人福祉センターふれあい(特A型)	名張市	—	—
ケアハウス	おおぞら	伊賀市	50	—
	グリーンピア名張	名張市	30	—
	はなの里	名張市	20	—
	第2はなの里	名張市	30	—

平成 25 年 4 月 1 日現在

施設の種別	施設名	市名	定員	ショートステイ
デイサービスセンター	デイサービスセンター彩四季	伊賀市	—	—
	ふくじゅえんデイサービスセンター	伊賀市	—	—
	社会福祉法人敬親会指定通所介護事業所いがのしろ	伊賀市	—	—
	老人デイサービスセンターなしのき	伊賀市	—	—
	通所・デイサービスセンター「はつらつ」	伊賀市	—	—
	デイサービスセンター「おおぞら」	伊賀市	—	—
	デイサービスセンター「かわい」	伊賀市	—	—
	デイサービスセンターさくら	伊賀市	—	—
	特定非営利活動法人 伊賀の友	伊賀市	—	—
	デイサービスセンターやすらぎの家	伊賀市	—	—
	デイサービスセンターみやま	伊賀市	—	—
	デイサービスセンターあやま	伊賀市	—	—
	通所・デイサービスセンター「ほほえみ」	伊賀市	—	—
	デイサービスセンターしまがはら	伊賀市	—	—
	おおやまだデイサービスセンター鶴寿園	伊賀市	—	—
	おおやまだデイサービスセンター「さるびの」	伊賀市	—	—
	あやま老人デイサービスセンター	伊賀市	—	—
	愛の里デイサービスセンター	伊賀市	—	—
	特定非営利活動法人 ふれあいステーション都美恵	伊賀市	—	—
	特定非営利活動法人 ふれ合い広場アットホーム	伊賀市	—	—
	地域デイサービスセンター岡鼻	伊賀市	—	—
	通所デイサービスセンター「まごころ」	伊賀市	—	—
	デイサービスセンターあおやま森の里	伊賀市	—	—
	デイサービスセンターあおやま百々	伊賀市	—	—
	特定非営利活動法人 憩いの家たんぼぼ	伊賀市	—	—
	デイサービスセンター島ヶ原ひばりの里	伊賀市	—	—
	デイサービスセンター虹のいえ	伊賀市	—	—
	デイサービスセンターはあとハウスあおやま	伊賀市	—	—
	デイサービスセンターかすが	伊賀市	—	—
	デイサービスお花畑	伊賀市	—	—
地域デイサービスセンター猿野	伊賀市	—	—	
デイサービスたまたき	伊賀市	—	—	
憩いの里伊賀ケアホーム デイサービスセンター	伊賀市	—	—	

デイサービスセンターさくら第二	伊賀市	—	—
まちなかデイサービスセンター土芳館	伊賀市	—	—
リハビリデイサービスささゆり	伊賀市	—	—
通所介護センター伊賀シルバーケア豊壽園	伊賀市	—	—
デイサービスセンターすぶり	伊賀市	—	—
デイサービスセンターたんぼぼ玉瀧	伊賀市	—	—
リハビリデイサービス伊賀接骨院	伊賀市	—	—
デイサービス さくらそう	伊賀市	—	—
ゆめが丘鶴寿園デイサービスセンター	伊賀市	—	—
在宅複合型施設グリーンピア名張	名張市	—	—
社会福祉法人名張市社会福祉協議会通所介護事業所「ふれあい」	名張市	—	—
老人デイサービスセンターはなの里	名張市	—	—
デイサービスセンター国津園	名張市	—	—
デイサービス そらまめ	名張市	—	—
デイサービス 赤目の森	名張市	—	—
通所デイサービスセンター「伊賀の里」	名張市	—	—
近鉄スマイル桔梗が丘ケアセンター	名張市	—	—
デイサービス事業所こころ	名張市	—	—
医療法人梅川クリニック 指定通所介護八番町ゆうゆうくらぶ	名張市	—	—
デイサービス青蓮寺	名張市	—	—
デイサービス 宴	名張市	—	—
デイサービス第2はなの里	名張市	—	—
デイサービスとんぼ池	名張市	—	—
デイサービスそらまめ希中央	名張市	—	—
通所介護事業所「ことのは」	名張市	—	—
リハビリデイサービス楓	名張市	—	—
デイサービスのんびり	名張市	—	—
通所介護オルゴール	名張市	—	—
デイサービス手と手のぬくもり	名張市	—	—
デイサービスセンター名張もみじ山荘	名張市	—	—
第二デイサービス こころ	名張市	—	—
憩いの里 名張ケアホーム デイサービスセンター	名張市	—	—
リハビリデイサービス 楓 ぶらす	名張市	—	—
茶話本舗デイサービス桔梗亭	名張市	—	—
デイサービスひろこの家	名張市	—	—

142 障がい者の自立と共生

14202 障がい者福祉サービスの充実

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

1 障がい者および家族が、安心して地域生活をおくるための居宅介護などの訪問系サービス、生活介護等の日中活動系サービスを適切に利用できるよう、相談支援体制の充実やサービス提供基盤の整備促進を行います。

1 障がい者福祉

障害福祉サービス事業者に対し、新規・変更等指定申請時に、必要な指導、助言を行った。

障害者自立支援法の適正な運用のため、各市や関係機関との調整を行うための圏域自立支援協議会を隔月開催した。

(1) 身体障害(児)者手帳所持者の状況

平成 25 年 4 月 1 日現在

種別		視覚障害	聴覚障害	音声言語障害	肢体不自由	内部障害	計
伊賀市	児	3	9	0	34	10	56
	者	367	499	59	2,824	1,079	4,828
	小計	370	508	59	2,858	1,089	4,884
名張市	児	4	6	1	33	8	52
	者	188	300	34	1,744	789	3,055
	小計	192	306	35	1,777	797	3,107
管内計	児	7	15	1	67	18	108
	者	555	799	93	4,568	1,868	7,883
	計	562	814	94	4,635	1,886	7,991

(2) 療育手帳所持者の状況

平成 25 年 4 月 1 日現在

	A(最重度・重度)			B(中度・軽度)			合計		
	児	者	小計	児	者	小計	児	者	合計
伊賀市	49	254	303	106	270	376	155	524	679
名張市	42	210	252	131	231	362	173	441	614
計	91	464	555	237	501	738	328	965	1,293

(3) 管内の障がい福祉施設(居宅介護・重度訪問介護・行動援護事業所を除く)

ア 障害福祉サービス事業所

平成 25 年 4 月 1 日 現在

サービスの種類	事業所名	対象者	市名	定員
生活介護	多機能型事業所かしの木ひろば	身体・知的	伊賀市	20
	多機能型ふっくりあふウス	特定無し	伊賀市	8
	プレイヤー作業所	特定無し	伊賀市	12
	工房楽々あやま	特定無し	伊賀市	6
	青蓮寺オーラック	身体・知的	名張市	20
	ワークプレイス葉	特定無し	名張市	8
	多機能型 KoBo れもんぐらす	特定無し	名張市	20
	ききょうの家	特定無し	名張市	30
	とも	特定無し	名張市	28
	生活介護事業所「ふお～ゆ～」	身体・知的	名張市	20
	名張育成園 デイセンター ういず	特定無し	名張市	23
	きらめき工房あおやま	特定無し	伊賀市	6
	上野ひまわり作業所	特定無し	伊賀市	8
	きらめき工房いが	特定無し	伊賀市	15
	身体障害者支援施設 梨丘園	身体	伊賀市	20
	指定障害者支援施設 「身体障害者支援施設 はなの里」	身体	名張市	28
	名張育成園 成峯	特定無し	名張市	60
	名張育成園 成美	特定無し	名張市	60
工房ホップ	特定無し	名張市	6	
放課後等デイ	ひまわり児童ファーム・名張ファーム	障害児	名張市	10
	ゆうら	障害児	名張市	30
保育所等訪問	児童発達支援センター どれみ	障害児	名張市	
児童発達支援	児童発達支援センター どれみ	障害児	名張市	16
短期入所	身体障害者療護施設 梨丘園	身体	伊賀市	2
	ふっくりあハウ短所事業所	特定無し	伊賀市	3
	指定障害者短期入所事業所 「身体障害者支援施設はなの里」	身体 障害児	名張市	2
	名張育成園 成美	特定無し	名張市	10
	名張育成園 成峯	特定無し	名張市	10
	こどもライフサポートセンターはーと	障害児	名張市	6
	名張育成園 レインボークラブ	特定無し	名張市	3
	医療法人寺田病院	身体	名張市	空床型
	ココウツ短期入所事業所	特定無し	伊賀市	3

就労移行支援	かもんかもん	知的・精神	伊賀市	10
	伊賀みのりの里	特定無し	伊賀市	10
	ワークプレイス菜	特定無し	名張市	12
	ふっくりあハウ	特定無し	伊賀市	10
就労継続支援A型	ラピーヌ夢ファーム株式会社伊賀農場	知的・精神	伊賀市	10
	としまやおおのき	特定無し	伊賀市	20
	びいはいぶ	特定無し	伊賀市	10
	ぱとな	特定無し	伊賀市	30
就労継続支援B型	工房楽々あやま	特定無し	伊賀市	14
	NPO法人 ハッピーファームMKT	特定無し	伊賀市	20
	夢活菜本部農場	知的・精神	伊賀市	6
	ふっくりあハウ	特定無し	伊賀市	10
	サンフラワー名張ファクトリー	身体・知的	名張市	20
	KoBo れもんぐらす	特定無し	名張市	15
	レインボークラブ	特定無し	名張市	20
	もみじの家	特定無し	名張市	40
	あらくさ(津市「笠取の里」の従たる事業所)	特定無し	伊賀市	10
	アイコラボレーション伊賀	身体	伊賀市	20
	びいはいぶ	特定無し	伊賀市	10
	太陽作業所	知的・精神	伊賀市	25
	赤目の森作業所	特定無し	名張市	20
	多機能型事業所かしの木ひろば	身体・知的	伊賀市	10
	花みどりの里	特定無し	名張市	20
	丸之内レインボークラブ	特定無し	名張市	10
	かもんかもん	知的・精神	伊賀市	10
	上野ひまわり作業所	特定無し	伊賀市	14
	きらめき工房いが	特定無し	伊賀市	10
	きらめき工房あおやま	特定無し	伊賀市	14
	ワークプレイス菜	特定無し	名張市	20
	えん	知的・身体	伊賀市	20
伊賀みのりの里	特定無し	伊賀市	10	
プレイヤード作業所	特定無し	伊賀市	15	
ふっくりあモオンマール	特定無し	伊賀市	20	
自立(生活)訓練	ふっくりあフウス	特定無し	伊賀市	12
共同生活介護	くらしサポート ゆっくり	知的	名張市	77
	KoBo れもんぐらす	知的	名張市	11

	コテージ名張	知的	名張市	5
	共同生活介護事業所「ほっと」	特定無し	名張市	7
	フェアハウス名張	精神	名張市	10
	ケアホーム昴会	特定無し	伊賀市	31
	阿山ホーム(かざぐるま)	知的・精神	伊賀市	5
	伊賀ホーム(ほほえみ)	知的	伊賀市	5
	ココウツ	知的・精神	伊賀市	7
	ふっくりあミニボ	知的・精神	名張市	5
共同生活援助	KoBo れもんぐらす	知的	名張市	11
	ココウツ	知的・精神	伊賀市	7
	ふっくりあミニボ	知的・精神	名張市	5
	フェアハウス名張	精神	名張市	10
施設入所支援	指定障害者支援施設 梨丘園	身体	伊賀市	20
	指定障害者支援施設 「身体障害者支援施設はなの里」	身体	名張市	20
	名張育成園 成峯	特定無し	名張市	60
	名張育成園 成美	特定無し	名張市	55
福祉型障害児入所施設	こどもライフサポートセンターはーと	障害児	名張市	30
一般相談支援	のーまらいふ暖	計画相談支援	名張市	
	社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会	地域移行支援 地域定着支援	伊賀市	
特定相談支援	指定特定相談支援事業所 はなの里	計画相談支援	名張市	
	社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会	計画相談支援	伊賀市	
	児童発達支援センターどれみ	計画相談支援	名張市	
	ふっくりあ	計画相談支援	伊賀市	
	指定特定相談事業所 さぼ	計画相談支援	伊賀市	
	のーまらいふ暖	計画相談支援	名張市	
障害児相談支援	ふっくりあ	障害児相談支援	伊賀市	
	のーまらいふ暖	障害児相談支援	名張市	
	児童発達支援センター どれみ	障害児相談支援	名張市	

イ その他の福祉施設

平成 25 年 4 月 1 日 現在

施設の種類	施設等の名称	所在地	定員
点字図書館	上野点字図書館	伊賀市	—
盲人ホーム	伊賀市盲人ホーム	伊賀市	20 (通所)

14204 精神障がい者の保健医療の確保

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

- 1 地域精神保健福祉活動を推進するため、市および関係機関に対し専門的立場から技術指導および技術支援を行います。
- 2 精神障がい者の療養、社会復帰等に対する相談、指導、援助を行います。
- 3 精神障がい者の地域生活をサポートするためのネットワークづくりを行います。
- 4 地域住民に精神障がいに対する正しい知識の普及啓発を行います。

1 精神保健福祉事業

(1) 精神保健医療対策

ア 精神保健措置事業

目的 医療及び保護のために入院させなければ、精神障がいのために自身を傷つけ又は他人に害を及ぼす恐れのある精神障がい者を精神保健指定医の診察の結果により保護し、医療を受けさせ自傷、他害の行為を防ぐ。

(ア) 精神保健福祉法に基づく申請、通報の受理・調査状況 平成 24 年度

区 分	小計	法 29 条該当		法 29 条非 該当	診察不要
		措置入院者数	緊急措置入院者数 (内措置入院となつ たもの)		
計	18	0	5(2)	10	3
法 23 条申請	0	0	0	0	0
法 24 条通報	18	0	5(2)	10	3

* 法第 23 条申請(診察及び保護の申請) * 法第 24 条通報(警察官の通報)

(イ) 取扱措置入院患者数 平成 24 年度

	計	男	女
第 29 条措置新規	2	2	0
第 29 条措置解除	2	2	0
第 29 条措置在院者数	0	0	0

イ 自立支援医療(精神通院医療)

目的 精神障がい者の通院治療について適正な医療を普及するため、医療費の公費負担をする。自立支援医療費(精神通院)受給者証の有効期間 : 1 年間

(ア) 市別受給者証所持者数 平成 25 年 3 月 31 日現在

市町名	発行件数
伊賀市	1,294
名張市	1,160
計	2,454

(2) 精神障害者地域生活支援事業

ア 精神障害者保健福祉手帳交付

目的 精神障がい者の社会復帰の促進と自立、社会参加の促進を図る。

精神障害者保健福祉手帳の有効期間 : 2 年間

(ア) 市別等級別精神障害者保健福祉手帳所持者数 平成 25 年 3 月 31 日現在

		伊賀市	名張市	計
障害 等級	1	50	70	120
	2	290	382	672
	3	98	159	257
計		438	611	1049

イ 精神保健相談及び保健師の相談

目的 一般住民や精神障がい者、その家族のニーズに応じ、こころの健康づくりやこころの病気を早期発見し、適切な医療につなげるとともに、精神障がい者の地域生活の支援、社会復帰を促す。

(ア) 相談件数

相談の区分	精神保健相談	保健師の相談		
		家庭訪問	面接	電話相談
開設状況	毎月第3木曜日 14:00~17:00 * H24.年 7 月より第 4 水曜日	随時	随時	随時
相談延件数	23	49	59	433

ウ 知識の普及と啓発

目的 地域住民に対して、精神障がいの正しい知識を普及啓発するとともに、精神障がい者の地域における身近な支援者を育成する。

(ア) 精神保健福祉研修会・精神保健福祉ボランティアの継続研修

a 開催日:平成24年9月4日 80名参加

場 所:伊賀庁舎

内 容:講演「こころ元気で商売繁盛・人生繁盛」

講 師:こころ元気研究所 所長 鎌田 敏 氏

* こころの健康づくり研修会との合同開催

b 開催日:平成 25 年3月13日 26名参加

場 所:伊賀庁舎

内 容:「WRAP(元気回復行動プラン)を知ろう！」

講 師:WRAP みえ

(イ) 地域交流会

a 対 象:管内精神障害者通所施設・家族会・ボランティア等

開催日:平成24年10月2日(火)

場 所:伊賀市青山北部公園グラウンド

内 容:伊賀圏域精神障がい者地域交流会(グランドゴルフ大会) 参加者:71名

b 対 象:関係機関等

開催日:平成24年7月23日(参加機関:8機関)

場 所:伊賀庁舎

内 容:地域交流会打ち合わせ会議

エ 精神障がい者支援体制の整備

(ア) 伊賀地域精神保健福祉連絡協議会

目的 精神障がい者の地域における生活の支援及び社会参加の促進を図るため、関係機関の連携を強化し、地域ケアの充実について検討する。

開催日	内 容	場 所	参加者
平成24年 8月3日	「ケース検討」	県伊賀庁舎	関係機関職員 12名
平成24年 10月16日	「地域の支援体制について考える～アルコール依存症事例を通じて～」 助言者 三重県こころの健康センター職員 事例提供 伊賀市障がい者相談支援センター職員	県伊賀庁舎	関係機関職員 24名
平成24年 12月18日	「地域の支援体制について考える～未受診事例を通じて～」 助言者 三重県こころの健康センター職員 事例提供 名張市障害者相談センターなびっと職員	県伊賀庁舎	関係機関職員 18名

(イ) 伊賀圏域自立支援協議会(精神障がい者地域移行支援事業部会)

目 的 伊賀市、名張市それぞれの地域移行支援事業・自立支援協議会(精神部会)の情報交換、共通課題の検討をする。

参加者 伊賀市障がい福祉課、名張市高齢・障害支援室、地域移行支援事業委託事業所、上野病院、保健所

開催日	内 容	場 所	参加者
平成24年 4月16日	昨年度の活動の振り返りと本年度の方向性について 各市からの報告と部会の連携について フェアハウス名張の見学	フェアハウス 名張	11名

平成 24 年 6 月 18 日	各市からの報告 精神障がい者地域移行・地域定着支援事業コーディネーター連絡会の報告 地域相談支援について 今年度の取り組みについて	伊賀庁舎	8 名
平成 24 年 8 月 20 日	各市からの報告 相談支援事業研修会報告 今年度取組について 障害者総合支援法の概要と行政レビュー結果について	伊賀庁舎	9 名
平成 24 年 10 月 15 日	各市からの報告 今年度取組について	伊賀庁舎	8 名
平成 24 年 12 月 7 日	各市からの報告 地域施設見学会実施報告 研修報告	伊賀庁舎	8 名
平成 25 年 3 月 26 日	各市からの報告 今年度の活動の振り返りと課題の検討 来年度の部会について	伊賀庁舎	8 名

* 部会の取り組み内容

地域施設見学会(伊賀市内 1 回、名張市内 1 回)、入院患者ケース検討 2 回

(ウ) 関係機関の支援

目的 市及び関係職員の精神障がいに対する知識と理解を深め、地域における精神保健福祉サービスの充実を図る。

a 市障がい(害)者相談支援センター・地域包括支援センター等のケース検討会等への参加

13 ケース

b 精神障がい者に関わる連絡会・協議会参加

伊賀市	自立支援協議会精神保健部会	12回
	けんずいまつりでの啓発	1回
	事業所交流会(クリスマス会)	1回
	民生委員との交流会(カレー作り)	1回
名張市	自立支援協議会地域移行部会	4回
	自立支援協議会地域移行部会ワーキング	6回
	精神保健福祉関係職員連絡会	11回
	学生への啓発事業	2回
	地域交流会(クリスマス会)	1回

(3) 精神障害者社会復帰推進事業

ア 通院患者リハビリテーション事業

目的 通院治療中の精神障がい者を一定期間事業所に通わせ、集中力、対人能力、仕事に対する持久力、環境適応能力等の涵養を図るための社会適応訓練を行い、再発防止と社会的自立を促進し、社会復帰を図る。

伊賀管内の登録事業所 13 事業所

平成 25 年 3 月 31 日現在

事業所名	住所
大西水耕栽培	伊賀市朝屋バンヤ 1197-1
萬成水耕栽培	伊賀市長田字垣内 2063-1
旅館いち利喜	伊賀市生琉里 2896-7
緑生園(花みどりの里)	伊賀市桂 1532
緑生園(フラワーランド)	名張市上小波田 1797
岸田工務店	伊賀市久米町 166-1
はあとの杜うえの	伊賀市緑ヶ丘本町 1606
日本ボックス	伊賀市桑町 1794
法花の里	伊賀市法花 3620
伊賀の友	伊賀市下友生 2367
南古山	名張市南古山経塚 2075
夢の里	伊賀市法花 3718
池の尻	伊賀市長田 5948-1

* 平成24年度中の利用者 6名(うち終了2名、中断1名)

(4)生活訓練等事業

ア 第 38 回三家連精神保健福祉大会への協力

実行委員会 4 回

ワーキング 3 回

大会参加(スタッフとして参加) 1 回

イ 地域家族会主催研修会への参加 2 回

143 支え合いの福祉社会づくり

14301 地域福祉活動と権利擁護の推進

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 住民の身近なところでの相談・支援体制を整備するため、民生委員の適正な配置と活動を確保するとともに、民生委員の資質向上のための研修や民生委員協議会活動の促進をはかる。

1 民生委員・児童委員

(1) 民生委員・児童委員の定数

平成 25 年 3 月 31 日現在

市名	委員定数[うち主任児童委員]
伊賀市	300[28]
名張市	180[16]
計	480[44]

(2) 民生委員・児童委員活動状況

平成 24 年度

		件数	
内容別相談 支援件数	在宅福祉	948	[2]
	介護保険	623	[6]
	健康・保健医療	483	[37]
	子育て・母子保健	274	[318]
	子どもの地域生活	1,263	[101]
	子どもの教育・学校生活	445	[114]
	生活費	1,039	[39]
	年金・保険	87	[1]
	仕事	105	[2]
	家族関係	316	[25]
	住居	159	
	生活環境	383	[1]
	日常的な支援	3,488	[10]
	その他	2,494	[163]
計	12,107	[819]	
分野別相談 支援件数	高齢者に関すること	7,406	[61]
	障害者に関すること	605	[23]
	子どもに関すること	2,349	[559]
	その他	1,747	[176]
	計	12,107	[819]
その他の活動 動件数	調査・実態把握	6,276	[71]
	行事・事業・会議への参加協力	12,373	[1509]

	地域福祉活動・自主活動	24,292	[1758]
	民児協運営・研修	11,593	[1214]
	証明事務	502	[4]
	要保護児童の発見の通告・仲介	189	[9]
	活動日数	66,555	[5,060]
	訪問回数	84,807	[911]

*[]内は主任児童委員(再掲)

14304 ユニバーサルデザインのネットワークづくりの推進

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

1 平成 24 年 10 月から開始された「三重おもいやり駐車場利用証制度」に基づき、障がい者等からの申請により利用証を交付します。

「三重おもいやり駐車場利用証制度」とは、障がい者や妊産婦、けが人などで、歩行が困難な方の外出を支援するため、公共施設や商業施設などさまざまな施設に「おもいやり駐車場」を設置するとともに、必要な方に「おもいやり駐車場」の利用証を交付する制度です。

1 おもいやり駐車場利用証制度

(1)利用証交付数

平成 25 年 3 月 31 日現在

	交付数	区分別交付数							
		身体障がい	知的障がい	精神障がい	要介護高齢者等	難病患者	妊産婦	けが人	その他
管内	843	658	25	5	79	10	42	3	21

Ⅱ 「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

232 子育て支援策の推進

23201 保育・放課後児童対策等の充実

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 放課後児童クラブの設置を促進するなど、地域のニーズにあった放課後児童対策を推進します。
- 2 仕事と子育ての両立を支援するため、延長保育、低年齢児保育、休日保育、一時保育、障害児保育などの多様な保育ニーズへの対応や放課後児童クラブ、地域子育て支援センター事業等の整備を促進します。
- 3 保育所が、地域における子育ての専門機関としての機能を発揮し、多様なニーズに対応できるよう多機能保育所の整備を促進します。

1 保育所

保育所は、保護者が就労したり、あるいは疾病にかかるなどのため、家庭において保育することができない児童を、保護者にかわって保育することを目的とする児童福祉施設である。近年、保育需要の多様化により、延長保育、障害児保育等の特別保育事業を実施している。また、在宅乳幼児の子育て支援としての期待に対しても応えようと、相談や、園庭の開放を行っている。

平成 25 年 4 月 1 日現在

市名	施設数	定員	入所 児童数	年齢別内訳				へき地 保育所
				0歳	1～2歳	3歳	4歳以上	
伊賀市	35	3,030	2,541	61	688	571	1,221	—
名張市	15	1,455	1,439	49	447	313	630	1
計	51	4,485	3,980	110	1,135	884	1,851	1

2 管内の児童福祉施設(保育所を除く)の状況

平成 25 年 4 月 1 日現在

施設の種別	施設名	市町村名	定員	現員 (登録者)
助産施設	森川病院	伊賀市	38	—
児童養護施設	名張養護学園	名張市	46	37
知的障害児施設	こどもライフサポートセンター はーと	名張市	30	24
児童発達支援	児童発達支援センター どれみ	名張市	16	30
放課後等デイサービス事業施設	ひまわり児童ファーム・名張ファーム	名張市	10	25
	ゆうら	名張市	30	65
児童館	伊賀市しろなみ児童館	伊賀市	—	—
	伊賀市まえがわ児童館	伊賀市	—	—
	伊賀市老川児童館	伊賀市	—	—
	名張市比奈知児童館	名張市	—	—
	名張市一ノ井児童館	名張市	—	—
	名張市こども支援センター かがやき	名張市	—	—

23202 母子保健対策の推進

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

- 1 母子保健の2014年(平成26年)までの国民運動計画である「健やか親子21」を県民運動として展開するため、親と子の総合的な健康づくりに取り組みます。
- 2 新生児を対象とした種々のマス・スクリーニング検査の実施、乳幼児、未熟児、思春期を対象とした専門的なサービスの提供や養育医療等を必要とする児童に対して経費の負担等を行います。
- 3 ハイリスク児の養育支援や市の支援、研修等、虐待予防に視点をおいた機能強化に努めます。

1 母子保健事業

母性及び乳幼児の健康の保持増進を図るため、市の母子保健事業の支援、広域的な母子保健施策の推進に努める。

(1) 保健指導事業

未熟児、小児慢性特定疾患及び養育医療受給者等とその家族に対して、関係機関との連携を図りながらQOL(生活の質)の向上を目指して個別支援を実施した。

家庭訪問延件数	101件
相談延件数(面接・電話)	756件

心身ともに発達や変化の大きい思春期の児童・生徒等に対して、性や健康に関する情報の提供及び保健指導を実施した。

電話相談延件数	4件
---------	----

(2) 健やか親子支援事業

親と子が健やかに暮らせる地域社会づくりを目指し、「健やか親子いきいきプランみえ」を推進していく中で、妊娠・出産・乳幼児期・思春期を通じて総合的に支援していくことを目的とした。

ア 心身の発達に問題をかかえる子どものフォローアップ

	年月日	場 所	内 容	参加者
ネットワーク会議	H24.10.1	患児自宅	医療依存度の高い児の在宅支援	6名

イ 児童虐待予防ケア

	年月日	場 所	内 容	参加者		
名張市要保護児童対策地域協議会	H24.5.9 H24.6.6 H24.10.31 H25.2.13	名張市役所	要保護児童に対し、適切に支援できるように情報交換、協議を行った。	市担当者 市教育委員会 児童相談所 警察署 保健福祉事務所		
	H24.9.26				名張市役所	「名張市児童虐待・DV防止対応マニュアル」の作成
	H24.11.19				武道交流会館 いきいき	児童虐待予防研修会

ウ 思春期保健

健康教育「思春期の性と問題と性感染症について」

講師:金丸産婦人科 金丸恵子氏

日時:平成 25 年 1 月 10 日

対象:伊賀市立島ヶ原中学校2・3年生・教職員 38 名

エ 母子保健体制の整備

	年月日	場 所	内 容	参加者
連絡調整会議	H24. 8.24	伊賀庁舎	市町母子保健担当者意見交換会	市保健師 市養育・育成医療担当職員 こども家庭室職員 保健所保健師
	H24. 12.26	伊賀庁舎	管内保健師会(講演会) 「低出生体重児の医療について」	市保健師 保健所保健師
乳幼児健診委員会の場での情報交換	H24.8.23 H25.2.21	伊賀医師会館	乳幼児健診の結果確認及び情報交換	小児科医師 産婦人科医師 市保健師 保健所保健師
	H24.4.13 H24.6.15	名賀医師会館		
	H24.8.5			
	H24.10.5			
	H24.12.7			
	H25.2.8			

(3) 各種医療給付の状況

ア 育成医療

身体に障がいのある児童又はこれを放置すると将来障がいを残すと認められる児童で確実な治療効果が期待し得るものに対し、医療給付を行った。

疾患別育成医療給付状況

平成 24 年度

疾患	件数
肢体不自由	14
視覚障害	4
聴覚・平行機能障害	5
音声・言語・そしゃく機能障害	25
内臓障害	58
計	106

イ 養育医療

出生体重が 2,000g 以下、あるいは生活力が特に希薄で医師が入院養育が必要と認めた未熟児に対し、その養育に必要な医療の給付を行った。 給付件数 31 件

ウ 小児慢性特定疾患

小児慢性特定疾患治療研究事業に基づき、患者家庭の医療費負担の軽減を図った。

平成 25 年 3 月 31 日現在

	計	悪性 新生 物	慢性 腎疾 患	慢性 呼吸 器疾 患	慢性 心疾 患	内分 泌疾 患	膠 原 病	糖 尿 病	先天 性 代謝 異常	血友 病等 血液 疾患	神経 ・筋疾 患	慢性 消化 器疾 患
件数	155	31	4	8	29	49	4	9	2	5	7	7

2 母体保護事業

(1) 人工妊娠中絶届出数(年齢別・在胎週別)

平成 24 年度

年齢 在胎週	総数	20 歳 未満	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50 歳 以上	不詳
総数	222	23	39	53	43	38	23	3	0	0
満 7 週以前	145	9	22	36	31	29	16	2	0	0
8 週~11 週	76	14	17	17	12	8	7	1	0	0
12 週~15 週	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
16 週~19 週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 週~21 週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 不妊手術届出数

届出件数 0 件

～沿革～

年	月	日	概 要
S12	4	5	保健所法(法律 42 号)公布
S12	12	14	内務大臣より阿山、名賀両郡を管轄区域とする三重県伊賀上野保健所設置の件、認可される。
S13	8	25	阿山郡上野町大字上野字丸の内に庁舎建物(木造 2 階建 延 115 坪)竣工。敷地 321 坪(寄附 150 坪、無償貸与 171 坪) 同日付開所する旨告示(三重県告示第 668 号)。
S22	5		上野警察署から衛生関係業務(食品衛生、急性伝染病予防業務)移管(三重県告示第 222 号)。
S22	6		三重県上野保健所と改称(三重県告示第 248 号)
S22	9	5	保健所法全面改正(法律第 101 号、昭 23.1.1 施行)
S23	11	20	保健所の課制施行。総務、衛生、保健予防課、保健婦室の 3 課 1 室設置(庁訓第 550 号)。
S29	2	12	庁舎事務所(木造 2 階建 延 51 坪)竣工。
S35	8	15	次長制度施行(県規則第 65 号)。
S39	3	6	三重県上野庁舎に移転。
S39	5	6	名張市に上野保健所名張相談所開設。
S51	4	1	環境課設置。4 課 1 室となり衛生課を衛生指導課と改称。
H4	4	6	上野市四十九町に移転。
H5	4	1	保健婦室を保健指導課と改称。
H9	4	1	保健予防課・保健指導課を廃止し、企画調整課・地域保健課を設置。
H10	4	1	・行政システム改革に伴う組織改正。 ・保健所、福祉事務所、児童相談所を統合し、伊賀県民局保健福祉部を設置。 これに伴いグループ制の実施。企画総務グループ、健康増進グループ、福祉保健グループ、児童グループ、衛生・検査グループを置く。
H13	4	1	・企画総務グループを、総務グループ、企画グループに分割。 ・衛生・検査グループを衛生指導グループに改称。
H14	4	1	・行政システム改革に伴う組織改正。 ・チーム制の導入、保健衛生チーム、福祉相談チーム、児童家庭チームの設置。 これに伴い保健衛生チームに計画調整グループ、健康増進グループ、衛生指導グループ、福祉相談チームに経営支援グループ、生活支援グループを置く。
H15	4	1	経営支援グループと計画調整グループを統合し、福祉相談チームに経営企画グループを置く。
H16	4	1	室制を導入。保健衛生チーム、福祉相談チーム、児童家庭チームをそれぞれ、保健衛生室、福祉相談室、児童家庭室に改称。
H17	4	1	・児童相談所の分離・独立に伴い、児童家庭室を廃止。 ・福祉相談室を企画福祉室、経営企画グループを企画市町村支援グループ、生活支援グループを福祉グループに改称。
H18	4	1	・機構改革による県民局制廃止に伴い、伊賀保健福祉事務所を設置。 ・上野保健所を伊賀保健所に改称。 ・市町村合併に伴い、伊賀福祉事務所を廃止。 ・企画福祉室を廃止し、課制導入。保健衛生室、企画福祉課、健康増進課、衛生指導課の 1 室 4 課体制となる。
H25	4	1	・機構改革により伊賀保健福祉事務所を廃止し、伊賀保健所を設置。 ・企画福祉課を総務企画課に改称。



保健所年報(平成24年版)
(旧伊賀保健福祉事務所)

平成25年9月発行

三重県伊賀保健所

〒518-8533 伊賀市四十九町2802番地
電話番号 0595-24-8070(代表)
ファックス番号 0595-24-8085